



CYCLOCOMPUTER

Download Software [e-Train Data. Ver.3]

for Windows 98/ME/2000/XP

e-Train Data™

Ver 3

<http://www.cateye.co.jp/>



0365510 (JP-PeTD) 3

はじめに

e-Train Data™ Ver.3はパワーユニットを介してCC-TR100 メインユニットに蓄積された計測データ(メモリ計測・心拍ゾーン・ラップ・ケイデンスゾーンデータ)とパワーユニットに蓄積されたパワー関連データをパソコンにダウンロードすると同時にグラフ表示により計測データを確認することができます。ご使用前に本書をお読みいただき、e-Train Data™ Ver.3の機能を十分に理解した上で、正しくお取り扱いください。

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- IBMは、米国IBM Corp.の商標です。
- 本書の内容の全部、または一部を無断で複写・転載することは禁止します。
- 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。



自転車への取り付けについては、別紙の「自転車への取り付け」をCC-TR100 メインユニットの準備、パワーユニットの基本操作、各種設定手順についてはPDFファイル「パワーユニット取扱説明書.pdf」をご覧ください。

マニュアルの読み方

次の4つ方法からご利用になりたい操作方法、機能説明を探すことができます。

とにかく使ってみたい

12～18ページ参照

パソコン、CC-TR100、パワーユニットの接続手順、計測データのダウンロード手順を見ることができます。

表示がわからない

19～25ページ参照

e-Train Data™ Ver.3のボタンやアイコン、画面表示の説明や意味を知ることができます。

設定を変更したい

46～47ページ参照

e-Train Data™ Ver.3の設定を変更する手順を見ることができます。

こんな機能が使いたい

- ・ パソコンからCC-TR100の設定を変更する 18ページ
- ・ 計測データのプロパティを表示する 38ページ
- ・ 累積された計測データの統計を表示する 39ページ
- ・ 計測データの分析をする 45ページ
- ・ パソコンに接続しながら計測する 48ページ

その他、ご使用上の注意や操作方法については、次ページの目次から目的のページをお選びください。

本文中のマークの意味（アラートシンボルマーク）

重要 このマークのついた文章は、誤った操作を防ぐために守っていただきたい重要事項や補足説明について記載しています。

参考 このマークのついた文章は、知っておくと便利な機能または補足説明について記載しています。

本書について

- ・ 本書はWindowsの基本操作および用語等は、すでに習得されていることを前提として書かれています。はじめてWindowsをお使いになる方は、手持ちのWindows操作関連マニュアルを参考に、その内容を十分理解した上で本製品および本書をお使いください。
- ・ 本書では以後『e-Train Data™ Ver.3』をe-Train Data Ver.3、『CC-TR100 メインユニット』をCC-TR100、『パーソナルコンピュータ』をパソコンと表記します。
- ・ 『**[ファイル]**-**[開く]**を選択します』とは、メニューバーの**[ファイル]**をクリックし、表示されたプルダウンメニューから**[開く]**をクリックすることです。このように、**[]**で囲まれたコマンド名は、メニューまたはダイアログボックスの項目やボタンを表します。
- ・ 本書ではCC-TR100 メインユニットのメニュー画面のパワーセレクトがONの状態の説明しています（初期設定ではOFFに設定されています）。パワーセレクトの設定変更については、別紙の「クイックスタート」またはPDFファイル「パワーユニット取扱説明書.pdf」をご覧ください。

目次

はじめに	1	e-Train Data Ver.3の終了	47
マニュアルの読み方	2	オンライン計測	48
本文中のマークの意味 （アラートシンボルマーク）	2	オンライン計測の方法	48
本書について	2	オンライン計測画面の構成	49
e-Train Data Ver.3の機能一覧	4	クイックリファレンス	51
e-Train Data Ver.3をお使いになる前に ...	5	トラブルと処置	52
e-Train Data Ver.3に必要な環境	5	著作権	53
e-Train Data Ver.3のインストール	6	e-Train Data™の最新版について	53
アンインストール	10		
パソコンへの接続	12		
シリアルポートの設定	13		
使用するシリアルポートを指定する ...	13		
接続の監視とタスクトレイアイコン ...	13		
接続の監視を中断する	14		
接続の監視を再開する	14		
計測データのダウンロード	15		
CC-TR100の設定をパソコン側で変更する ..	18		
e-Train Data Ver.3の基本操作	19		
e-Train Data Ver.3の起動	19		
メイン画面の構成	20		
メイン画面の操作	22		
計測データを管理する	26		
計測データを開く	26		
計測データを削除する	27		
計測データをインポートする	28		
計測データを他のファイル形式に変換する ..	28		
トレーニングの予定表を作る	29		
予定を追加する	29		
予定を読み込む	31		
予定を保存する	32		
計測データを印刷する	33		
ラップデータを表示する	34		
心拍ゾーンを表示する	35		
ケイデンスゾーンを表示する	36		
パワーゾーンを表示する	37		
計測データのプロパティを表示する	38		
計測データの概要を表示する	38		
データにコメントを入れる	38		
データの統計を表示する	39		
計測データの履歴を表示する	39		
過去のゾーンの滞留時間をグラフ表示する ..	42		
計測データを分析する	45		
設定を変更する	46		
e-Train Data Ver.3の設定を変更する ...	46		
ユーザーの設定を変更する	47		

e-Train Data Ver.3の機能一覧

計測データの取り込み

CC-TR100に蓄積したメモリ計測、ラップ、心拍ゾーン、ケイデンスゾーンデータとパワーユニットに蓄積されたパワー関連データをパソコンへダウンロードします。ダウンロードしたデータはグラフ化し、印刷も容易に行えます。

参考 計測データのダウンロードは、ダウンロードキットでも行えますが、その場合パワー関連データはダウンロードできません。

メイン画面

計測データは全体表示エリアでデータ全体のグラフ表示し、部分表示エリアで拡大表示します。メイン画面は次の機能を備えます。

・異種データの同時表示

メモリ計測のグラフ上へラップ、心拍ゾーン、ケイデンスゾーンデータを読み込み、重ねて表示できます。また、ユーザーごとにトレーニングゾーンを拡張することができ、より詳細な情報を得ることができます。

・走行時間と走行距離の切り替えと目盛りの変更

グラフの横軸は走行時間か走行距離かを選べます。切り替えはツールバーでワンタッチで行えます。また目盛りの表示・非表示の切り替えや数値の変更も自在です。

・分析ツール

各ゾーンデータ・トレーニングデータを組み合わせてデータ分析を行うことができます。

・統計ツール

過去の統計を取り、グラフ表示することができます。またゾーンごとに統計を表示することもできます。

予定表

カレンダー形式の表にトレーニングを行う予定を入力することができます。また、ダウンロードした計測データをカレンダーに表示させることができます。

オンライン計測

自転車とパソコンを直結して計測を行います。計測中にトルク値を表示させることができます。

CC-TR100の設定変更

CC-TR100を装着している場合のみ、パソコンからCC-TR100の設定を変更することができます。

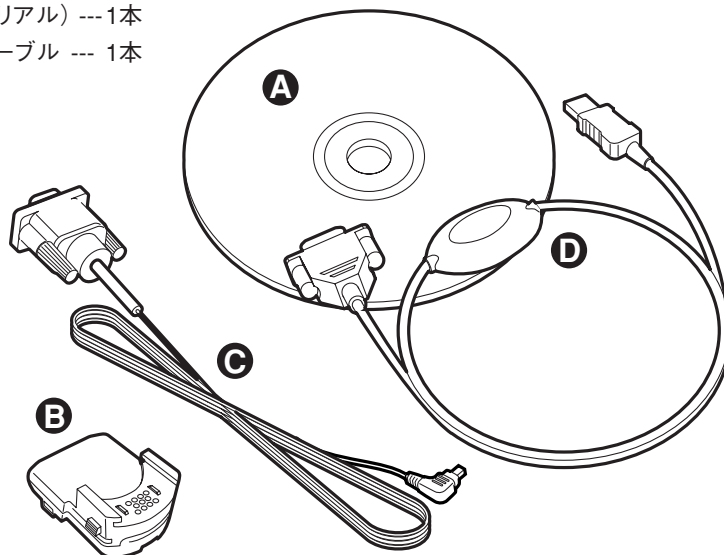
ダウンロードした計測データ

ダウンロードされたデータは、独自の形式で保存されます。エクスポートを使うことにより計測データをファイルに書き出し、インポートで別のパソコンに計測データをコピーすることができます。

e-Train Data Ver.3をお使いになる前に

e-Train Data Ver.3を使用するには、次の部品が必要です。
パワーユニットの付属品から準備してください。

- A. CD-ROM ----- 1枚
- B. パワーユニット ----- 1個
- C. RS232Cケーブル(シリアル) --- 1本
- D. シリアル-USB変換ケーブル --- 1本



e-Train Data Ver.3に必要な環境

- ・パソコン本体 ----- Windows98/ME/2000/XPが動作する環境
USBポートまたは、RS232Cポート(シリアルポート)が使用できること
 - ・ USBポートに接続する場合は付属の変換ケーブルを使用します。
(Windows98SE以降のOSに対応しており、Windows98の場合は変換ケーブルが非対応のためUSBポートは使用できません。)
- ・ディスプレイ解像度 ----- 800×600 dot 以上
- ・ハードディスク ----- 10MB以上の空き容量
- ・メモリ ----- 32MB以上
- ・プリンタ ----- Windows98/ME/2000/XPに対応しているプリンタ
- ・その他 ----- Windows98/ME/2000/XPに対応しているマウス

e-Train Data Ver.3のインストール

重要 ここではWindowsXPのインストールを例にして説明しています。ご使用のOSがWindowsXPではない場合も、特に指示がない場合は同様の手順を行ってください。

付属のCD-ROMを使ってインストールします。インストール先を変更しないときはProgram Filesフォルダの中にe-Train Data Ver.3フォルダが作成され、その中にインストールされます。

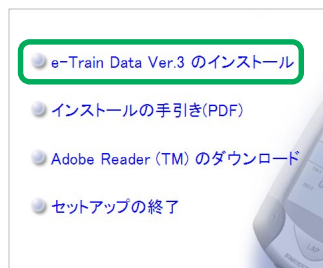
重要 旧バージョンのe-Train Dataをお使いの場合はインストールの前に旧バージョンのアンインストールをお勧めします。また一度インストールに失敗した場合も同様にアンインストールを行います。

1. Windowsを起動します。
2. e-Train Data Ver.3のCD-ROMをCDドライブにセットします。
3. CDメニューが自動的に起動します。



参考 CDメニューが自動的に起動しない場合は、CDドライブの中にあるsetup.exeを実行してください。

4. 「e-Train Data Ver.3 のインストール」をクリックします。
インストーラーが起動します。

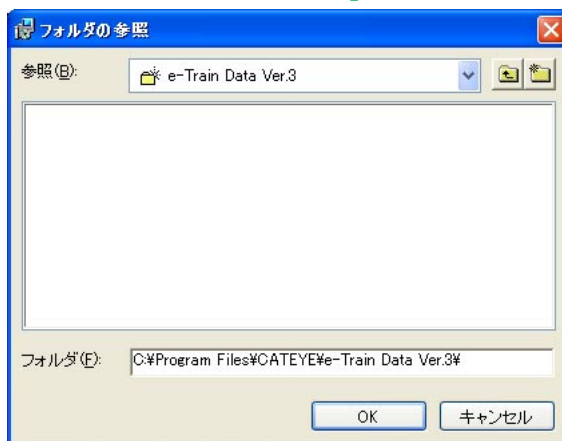




5. 「次へ(N)」ボタンをクリックします。
インストール先の選択画面が表示されます。

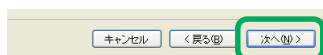


インストール先を変更する場合は「参照」ボタンをクリックします。
保存したいフォルダを指定し、「OK」ボタンをクリックします。



参考 指定したフォルダが存在しない場合は、フォルダを自動的に作成します。
インストール先の残り容量を確認したい場合は「ディスク領域」ボタンをクリックします。
「OK」ボタンでダイアログを閉じます。

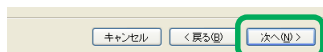




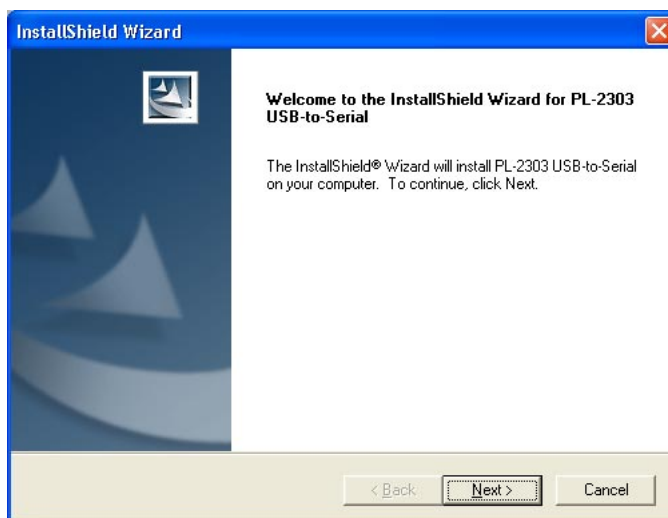
6. 「次へ(N)」ボタンをクリックします。
インストールの確認画面が表示されます。



参考 設定を変更したい場合は「戻る(B)」ボタンで前の手順に戻り、設定を変更してください。



7. 「次へ(N)」ボタンをクリックします。
インストールが開始します。
8. ファイルがコピーされると続けてシリアル-USB変換ケーブル用ドライバのインストールを行います。
インストール画面が表示されます。



参考 Windows98をお使いの場合は「Cancel」ボタンをクリックし、インストールを完了します。Windows98SE以降のOSをお使いの場合は「Next >」ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



9. 「Next >」ボタンをクリックします。
インストールが開始します。

10. ファイルがコピーされるとシリアル-USB変換ケーブル用ドライバのインストール完了画面が表示されます。

「Finish」ボタンをクリックします。



11. 「閉じる」ボタンをクリックするとインストールを完了します。



アンインストール

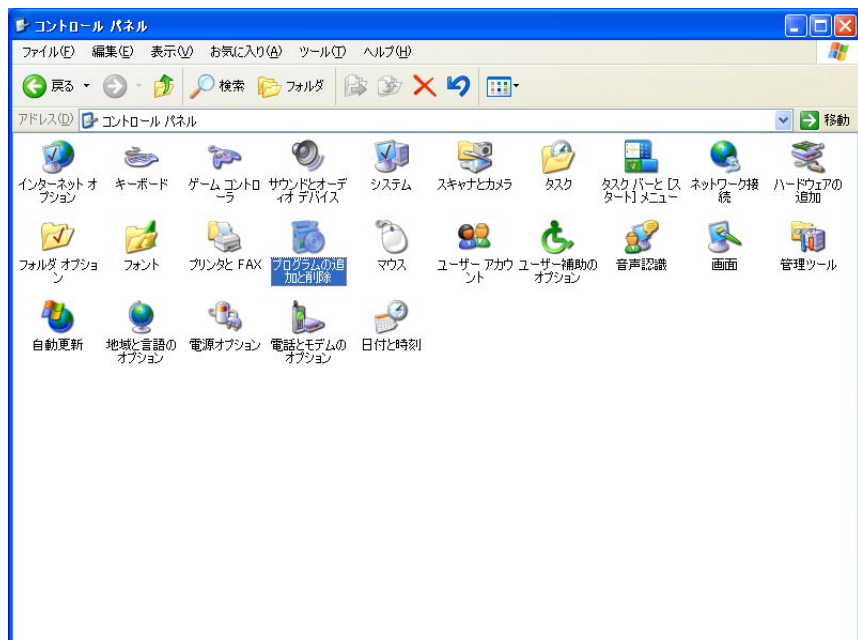
重要 ここではWindowsXPのインストールを例にして説明しています。ご使用のOSがWindowsXPではない場合も、特に指示がない場合は同様の手順を行ってください。



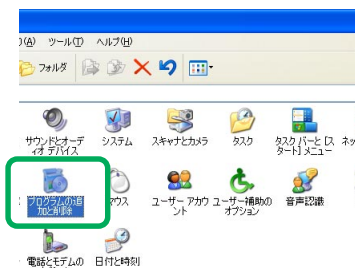
1. 「スタート」ボタンをクリックします。
スタートメニューが表示されます。



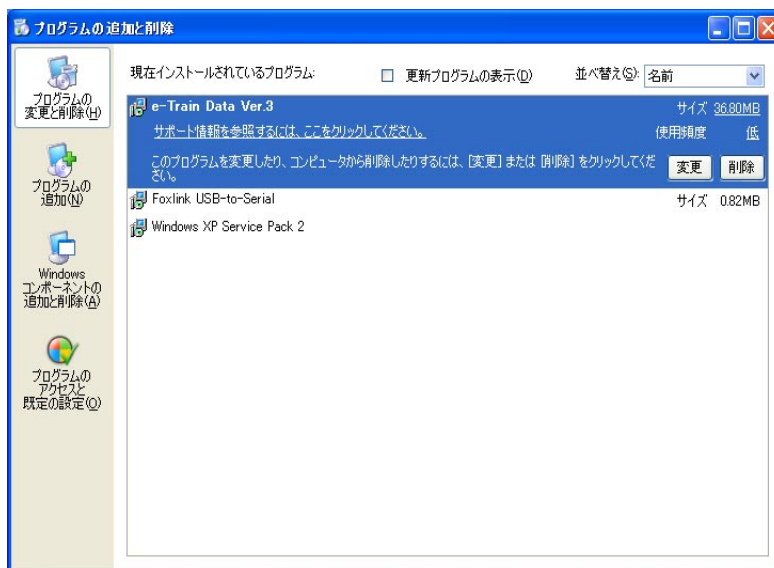
2. 「コントロールパネル」ボタンをクリックします。
コントロールパネルが表示されます。



重要 使用しているOSによっては、スタートメニュー内の「設定」- 「コントロールパネル」を選択して開きます。

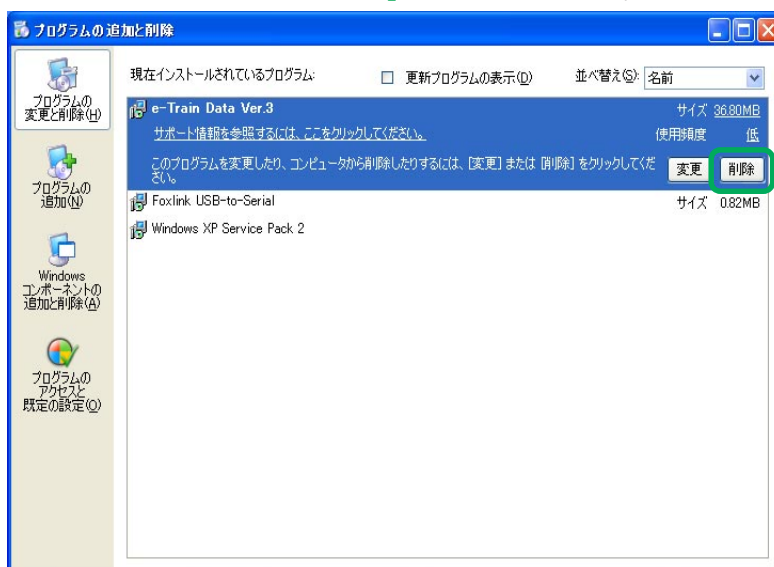


3. 「プログラムの追加と削除」ボタンをクリックします。
プログラムの追加と削除画面が表示されます。



重要 使用しているOSによっては、「アプリケーションの追加と削除」をクリックして開きます。

4. “e-Train Data Ver.3”を選択し、「削除」ボタンをクリックします。



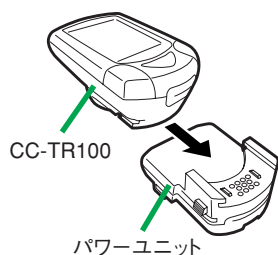
重要 使用しているOSによっては、「追加と削除」ボタンをクリックします。

5. ファイルの削除確認画面で、「はい(Y)」ボタンをクリックします。
アンインストールが開始されます。



6. e-Train Data Ver.3の削除が終了するとアンインストールが完了します。

パソコンへの接続

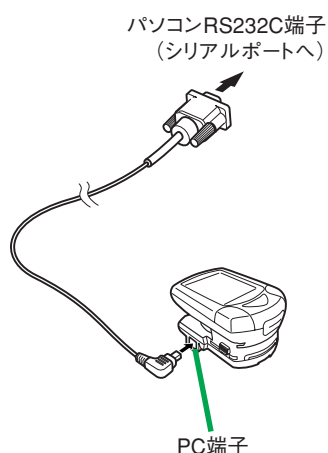


パソコンに接続する前に、CC-TR100をパワーユニットに装着します。

カチッと音がするまで確実に差し込んでください。

重要 CC-TR100とパワーユニットの接点の接続が不安定な場合、ダウンロードが失敗する場合があります。

シリアルポートに接続する場合



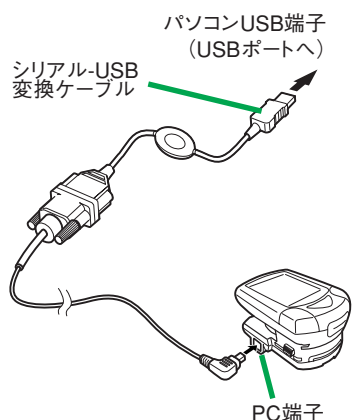
1. RS232CケーブルのRS232CコネクタをパソコンのRS232C端子(シリアルポート)に接続します。

重要

- ・接続はしっかり行ってください。接続が不確実な場合、転送がうまくできないことがあります。
- ・ケーブルのコネクタは9ピンのシリアルコネクタです。IBMおよびIBM互換機に対応します。お使いのパソコン機種によっては別途変換アダプターが必要となります。

2. CC-TR100を装着したパワーユニットのPC端子にRS232Cケーブルの小さいコネクタを接続します。

重要 接続はしっかり行ってください。接続が不確実な場合、転送がうまくできないことがあります。



USBポートに接続する場合

1. 付属のシリアル-USB変換ケーブルのRS232C端子をRS232CケーブルのRS232Cコネクタと接続してパソコンのUSBポートに接続します。

重要 接続はしっかり行ってください。接続が不確実な場合、転送がうまくできないことがあります。

2. CC-TR100を装着したパワーユニットのPC端子にRS232Cケーブルの小さいコネクタを接続します。

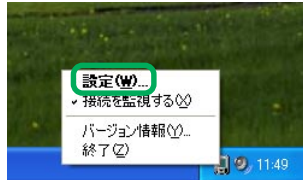
重要 接続はしっかり行ってください。接続が不確実な場合、転送がうまくできないことがあります。

シリアルポートの設定

使用するシリアルポートを指定する

1. タスクトレイにあるConnection Managerのアイコンを右クリックします。
ポップアップメニューが表示されます。
2. ポップアップメニューから「設定」をクリックします。
シリアルポートの設定ダイアログが表示されます。

参考 アイコンをダブルクリックしてもダイアログが表示されます。



3. ポート番号から使用するシリアルポートの番号を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



■ポート番号がわからない場合

ポート番号がわからない場合は、「自動認識」ボタンをクリックします。
ダウンロードユニットが、接続されたシリアルポートを自動的に認識します。

重要 e-Train Data Ver.3で指定したシリアルポートは、Connection Managerが占有するため、ほかのプログラムはシリアルポートを使用できなくなります。
Connection Manager使用中に、ほかのプログラムでシリアルポートを使用する場合は、後述の「接続の監視を中断する」(14ページ)を参照してください。

接続の監視とタスクトレイアイコン

タスクトレイのアイコンが以下のようなときはConnection Manager はシリアルポートを使用してダウンロード接続を監視しています。

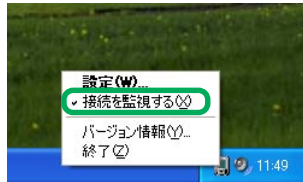


タスクトレイのアイコンが以下のようなときはConnection Manager はシリアルポートを開放し、ダウンロード接続の監視を中断しています。



接続の監視を中断する

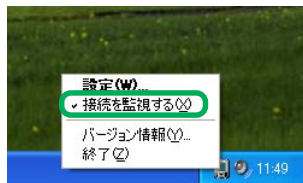
1. タスクトレイにあるConnection Managerのアイコンを右クリックします。
ポップアップメニューが表示されます。
2. ポップアップメニューから“接続を監視する”のチェック状態を確認します。
チェックマークが入っている場合、Connection Managerはシリアルポートを使用してダウンロード接続を監視しています。
チェックマークが入っていない場合、シリアルポートを開放して接続の監視を中断しています。



3. チェックマークが入っている場合、「接続を監視する」をクリックします。
チェックマークが消え、Connection Managerは一時的にシリアルポートを開放して接続の監視を中断します。

接続の監視を再開する

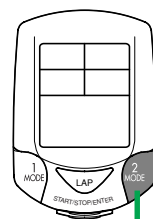
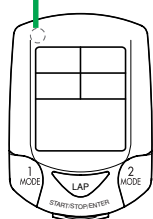
1. タスクトレイにあるConnection Managerのアイコンを右クリックします。
ポップアップメニューが表示されます。
2. ポップアップメニューから“接続を監視する”のチェック状態を確認します。
チェックマークが入っている場合、Connection Managerはシリアルポートを使用してダウンロード接続を監視しています。
チェックマークが入っていない場合、シリアルポートを開放して接続の監視を中断しています。



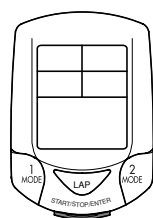
3. チェックマークが入っていない場合、「接続を監視する」をクリックします。
チェックマークが入り、Connection Managerはシリアルポートを占有して接続の監視を再開します。

計測データのダウンロード

MENUボタン



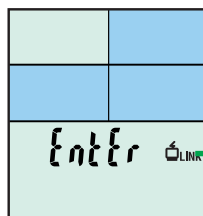
MODE-2ボタン



START/STOP/ENTERボタン

1. CC-TR100の装着、パワーユニットとパソコンの接続を確認し、Windowsを起動します。(12ページ参照)
2. CC-TR100の「MENU」ボタンを押します。

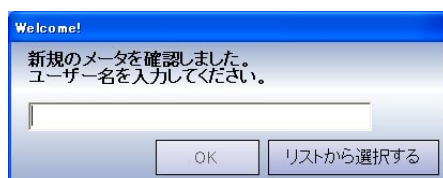
3. CC-TR100の「MODE-2」ボタンを数回押し、パソコンリンクアイコンを点灯させます。



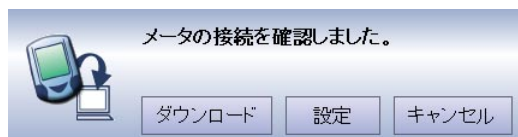
パソコンリンクアイコン

4. CC-TR100の「START/STOP/ENTER」ボタンを押します。

初めて接続するとき、またはフォーマット操作をした後に接続する場合は、ユーザーの登録画面が表示されます。ユーザー名を入力して「OK」ボタンをクリックします。



5. パソコンがCC-TR100の接続を確認したら「メータの接続を確認しました。」のメッセージが表示されます。



CC-TR100の表示パネルには「オンライントルク計測」画面が表示されます。CC-TR100の「MODE-1」ボタンまたは「MODE-2」ボタンを押して「PC オンライン」画面を表示させます。

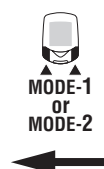
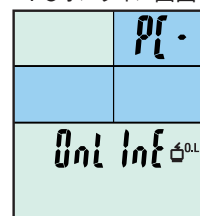
重要 CC-TR100の設定でパワーセレクトがOFFになっている場合は「LnE Error」が表示され、接続できません。

参考 「オンライントルク計測」画面が表示されているときに「START/STOP/ENTER」ボタンを押すと、オンライントルク計測が開始されます。

オンライントルク計測画面



PCオンライン画面

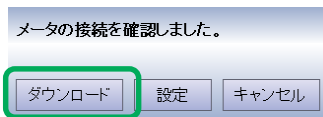


CC-TR100の接続ができない場合は、以下の項目を確認してください。

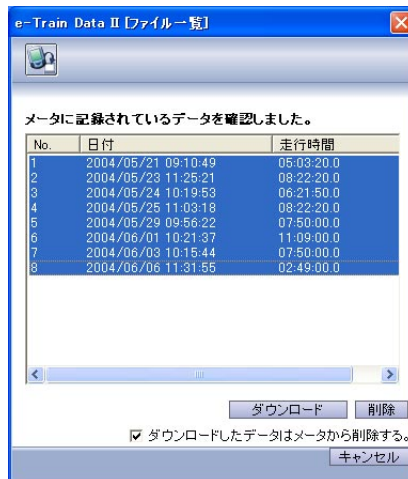
- ・パワーユニットとパソコンの接続の確認する
- ・パワーユニットとCC-TR100の接続の確認する
- ・パソコンを再起動して再度接続する
- ・トラブルと処置 (52ページ) を参照する

以上の項目を確認しても接続ができない場合はe-Train Data Ver.3を再インストールしてください。

6. 「ダウンロード」ボタンをクリックすると、CC-TR100に保存されているデータの一覧が表示され、計測データをダウンロードします。



7. CC-TR100に保存されているファイルの一覧が表示されます。



8. ダウンロードしたいファイルを選択します。



参考

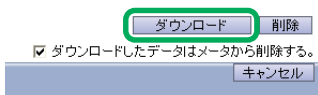
不要なファイルを選択して「削除」ボタンをクリックするとCC-TR100から指定したデータを削除することができます。

「ダウンロードしたデータはメータから削除する。」にチェックを入れている場合はダウンロード終了後にCC-TR100のデータを削除します。

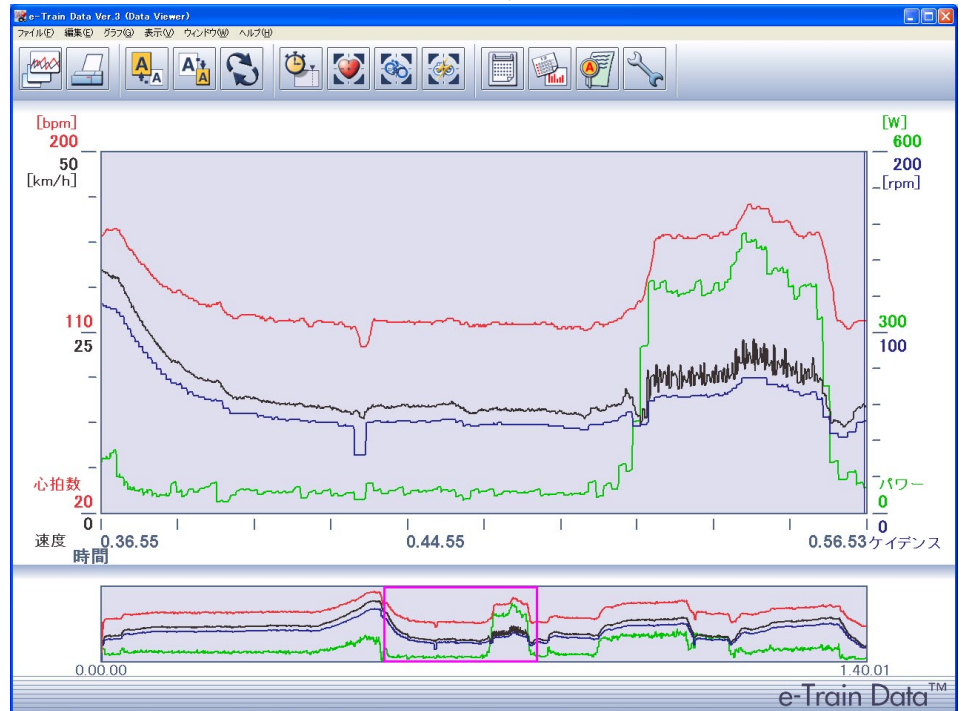
9. 「ダウンロード」ボタンをクリックするとダウンロードが開始されます。

重要

- ・ダウンロードにかかる時間は最大約5分です。ダウンロードが終了するまでしばらくお待ちください。
- ・ダウンロード中にエラーが起きたときはアラートが表示されます。パソコンを再起動し、ダウンロードをやりなおしてください。
- ・ダウンロード失敗の原因としてCC-TR100とパワーユニットの接点の接続が不安定な事が考えられます。CC-TR100が確実にパワーユニットに装着されているか確認してください。



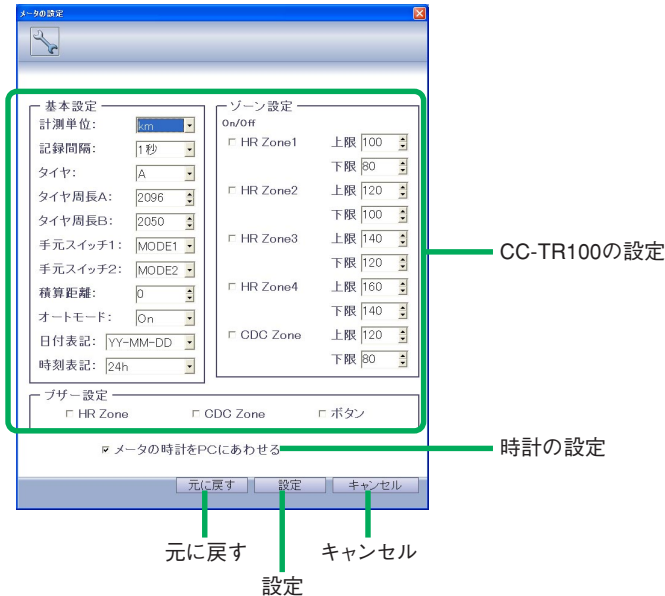
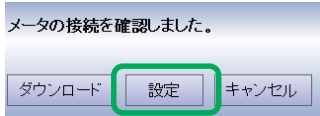
10. e-Train Data Ver.3 に計測データが表示されます。



11. ダウンロードを終了します。

CC-TR100の設定をパソコン側で変更する

1. 初めに「計測データのダウンロード」(15ページ)を参照して1～5までの操作を行ないます。
2. 「設定」ボタンをクリックすると、現在PCに保存されている設定内容が表示されます。



各項目は次の動作を行います。

CC-TR100の設定 ----- CC-TR100の各種設定を変更できます。変更できる内容はCC-TR100のメニューから行うものと同様です。ゾーン設定のOn/Offにチェックを入れると、CC-TR100のゾーン設定がOnになります。

時計の設定 ----- CC-TR100の時計をパソコンの内蔵時計に合わせます。

元に戻す ----- 設定内容を変更前に戻します。

設定 ----- セットアップダイアログを閉じてCC-TR100の設定を行います。

キャンセル ----- 設定をキャンセルしてセットアップダイアログを閉じます。

3. 「設定」ボタンをクリックすると、設定の内容がCC-TR100に反映されます。

重要 データリセットをしていないときは、設定できる項目が制限されます。

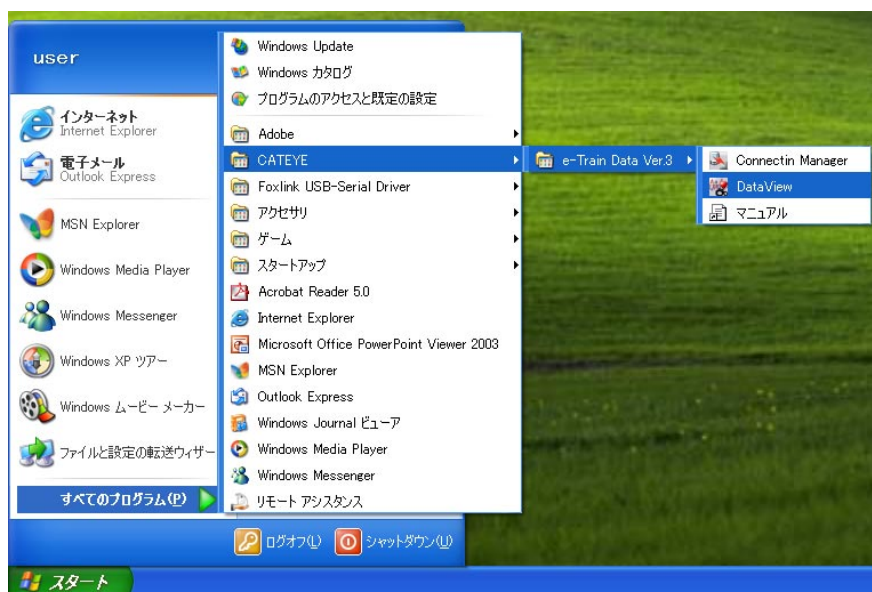
制限される項目は以下の通りです。

- ・ 基本設定： 計測単位、記録間隔、タイヤ選択、タイヤ周長A、タイヤ周長B
- ・ ゾーン設定： HR Zone1～4、CDC Zoneの上限・下限

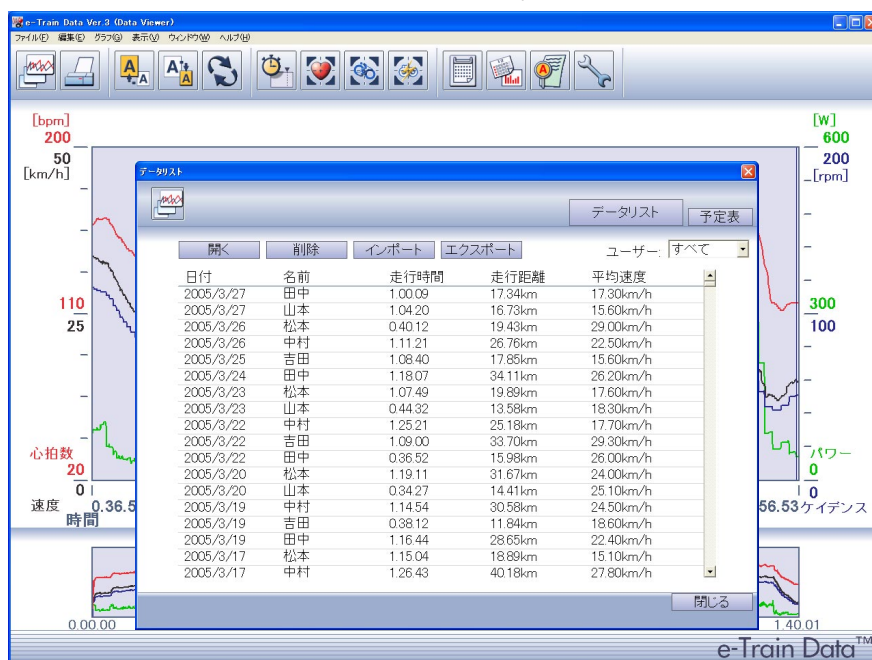
e-Train Data Ver.3の基本操作

e-Train Data Ver.3の起動

1. タスクバーの[スタート]- [プログラム]- [CATEYE]- [e-Train Data Ver.3]- [Data Viewer]をクリックします。



2. メイン画面とデータリストダイアログが表示されます。

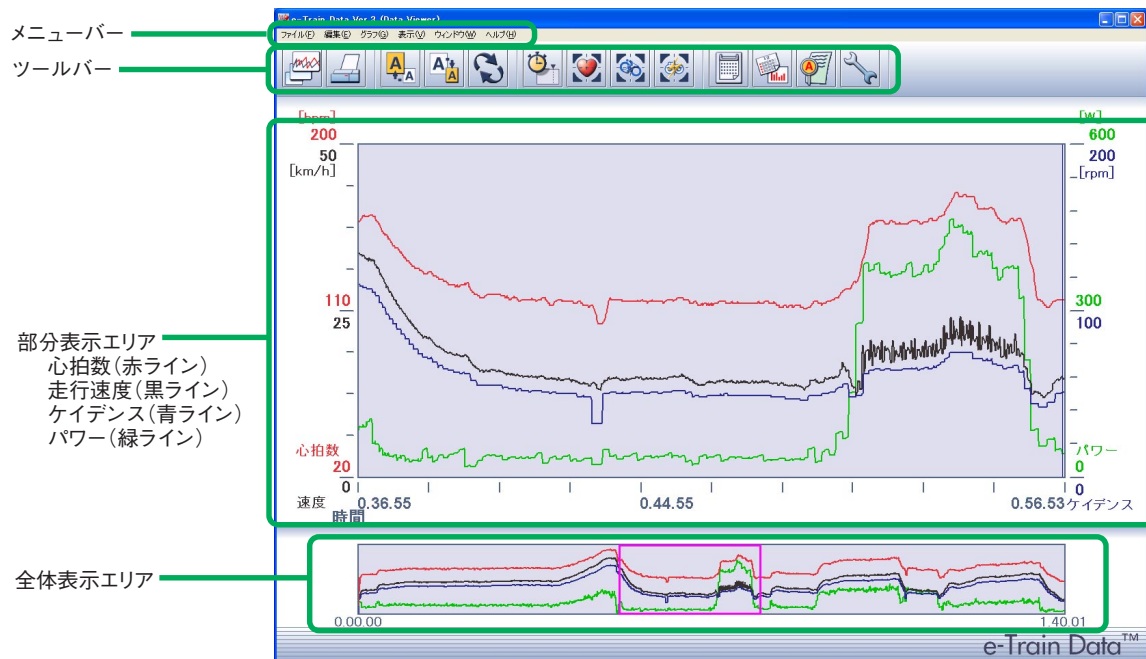


参考 CC-TR100のデータを一度もダウンロードしていない場合はデータリストダイアログは表示されません。

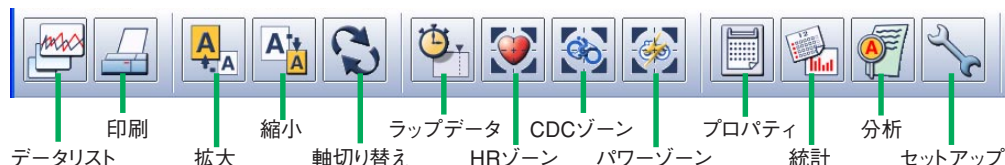
3. データリストから開きたい測定データを選択して「開く」ボタンをクリックすると、選択した測定データがメイン画面に表示されます。(26ページ参照)

メイン画面の構成

メイン画面画面は、心拍数・速度・ケイデンス・パワーのデータをグラフの全体を表示する全体表示エリア、グラフを部分的に表示させる部分表示エリアで構成され、データの把握が簡単に行えます。



ツールバー



ボタンをクリックすると次の動作が実行されます。

データリスト ----- ダウンロードした計測データのリストを表示し、計測データの表示・削除・インポート・エクスポートができます。また、予定表にトレーニングのスケジュールを登録できます。

印刷 ----- 表示している計測データをプリントするためのプリントダイアログを開きます。

拡大 ----- 部分表示エリアのグラフを拡大して表示します。

縮小 ----- 部分表示エリアのグラフを縮小して表示します。

軸切り替え ----- 横軸を走行時間、または走行距離に切り替えます。

ラップデータ ----- ラップデータの表示/非表示を切り替えます。

HRゾーン ----- CC-TR100で設定した心拍ゾーン1～4とe-Train Data Ver.3で設定できるエクストラゾーン (EX1～6) の合わせて10ゾーンを順次表示します。ボタンをクリックすることによりゾーンが切り替わります。エクストラゾーンはゾーンごとに表示・非表示を選択可能です。

CDCゾーン ----- CC-TR100で設定したケイデンスゾーンとe-Train Data Ver.3で設定できるエクストラゾーン (EX1～4) の合わせて5ゾーンを順次表示します。ボタンをクリックすることによりゾーンが切り替わります。エクストラゾーンはゾーンごとに表示・非表示を選択可能です。

パワーゾーン ----- パワーゾーンとしてe-Train Data Ver.3で設定できるエクストラゾーン (EX1～10) を順次表示します。ボタンをクリックすることによりゾーンが切り替わります。ゾーンごとに表示・非表示を選択可能です。

プロパティ ----- 表示中の計測データの概要を示すダイアログを開きます。

統計 ----- ダウンロードしたデータをまとめてグラフ表示します。

分析 ----- 表示中の計測データのトレーニングゾーンをグラフ表示します。

セットアップ ----- e-Train Data Ver.3の各種設定を行うダイアログを表示します。

部分表示エリア

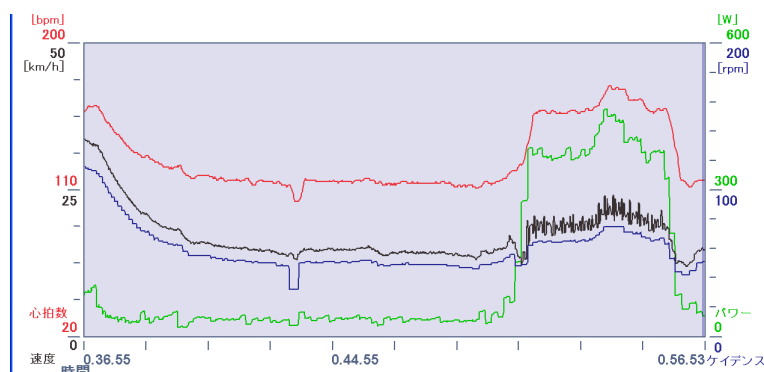
心拍数、走行速度、ケイデンス、パワーのデータをグラフ表示します。

心拍数は赤ライン、走行速度は黒ライン、ケイデンスは青のライン、パワーは緑ライン表示します。

グラフの色は変更できます。(46ページ参照)

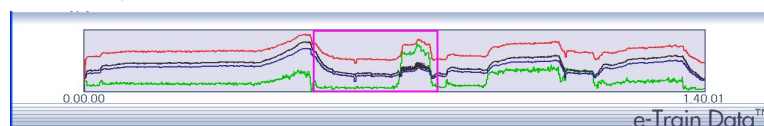
参考 パワーユニットを装着していない場合は、パワーのラインを表示しません。

横軸の走行時間は、ツールバーの「軸切り替え」ボタンで走行距離に替えられます。もう一度、押すと元の状態にもどります。



全体表示エリア

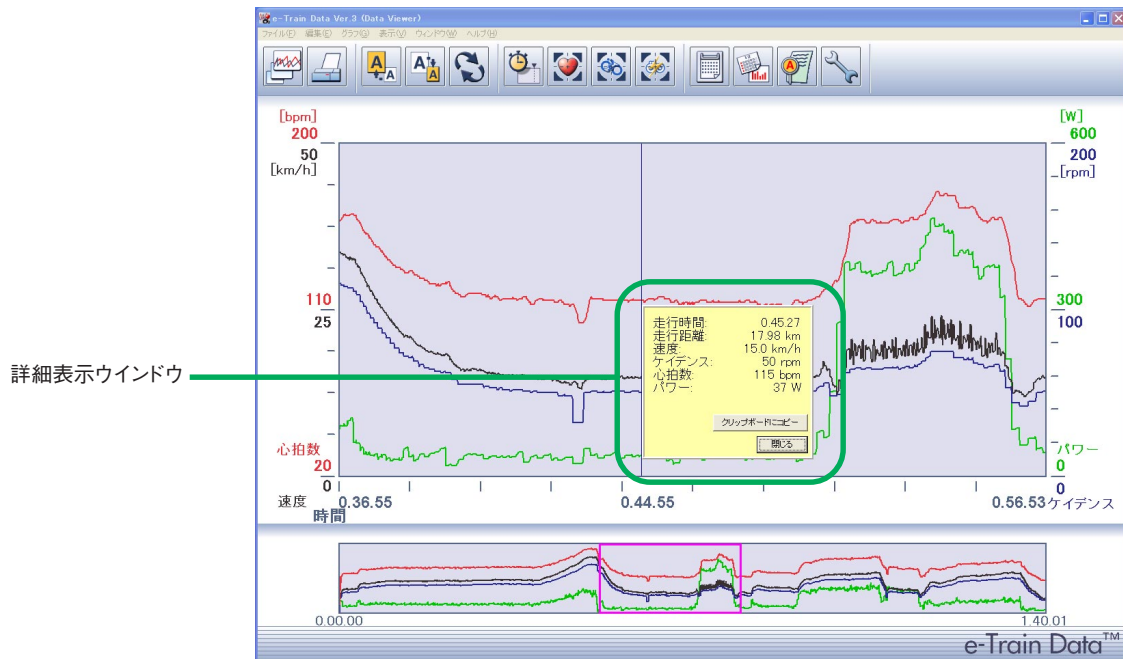
計測データ全体をグラフ表示します。グラフカーソル内に表示されているグラフが部分表示エリアに表示されます。グラフカーソルを移動させることで、部分表示エリアの表示位置を移動できます。



メイン画面の操作

詳細表示

部分表示エリアのグラフ上でマウスカーソルをクリックすると、詳細のウインドウが表示されます。



「クリップボードにコピー」ボタンを押すと詳細表示ウインドウの内容がクリップボードにコピーされます。

「閉じる」ボタンで詳細表示ウインドウを閉じます。

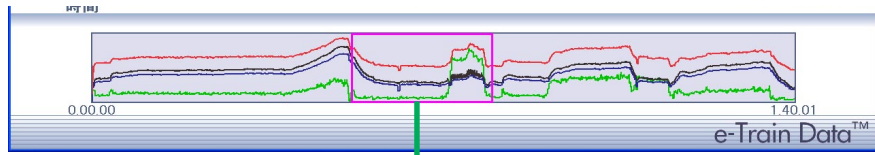
部分表示エリアの表示範囲を変更する

部分表示エリアのグラフでカーソルをドラッグまたは、全体表示グラフのグラフカーソルをドラッグするとドラッグさせた方向に部分表示グラフの表示範囲が移動します。

グラフカーソルをドラッグしたときは、表示時間のポップアップウインドウが表示されます。

グラフを拡大する

1. 全体表示エリアのグラフカーソルを拡大したい位置に移動させます。

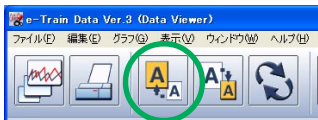


グラフカーソル

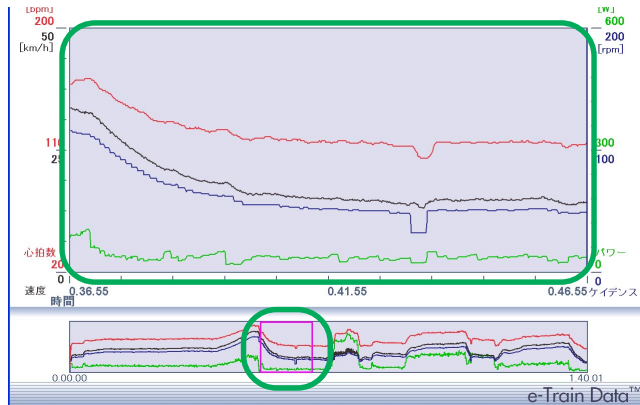
2. ツールバーの「**拡大**」ボタンをクリックします。

部分表示エリアのグラフが拡大されて、全体表示エリアのグラフカーソルの幅が狭くなります。この状態で「**拡大**」ボタンをクリックすると、さらにグラフが拡大されます。

参考 メニューバーの[グラフ(G)]-[拡大(Z)]を選択した場合も同様の操作を行えます。



拡大



参考 全体表示エリアのグラフカーソルの左右の枠をドラッグしても拡大することができます。

グラフを縮小する

部分表示エリアに表示しているグラフを縮小して表示します。

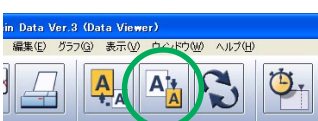
1. 全体表示エリアのグラフカーソルを縮小したい位置に移動させます。

2. ツールバーの「**縮小**」ボタンをクリックします。

部分表示エリアのグラフが縮小されて、全体表示エリアのグラフカーソルの幅が広がります。この状態で「**縮小**」ボタンをクリックすると、さらにグラフが縮小されます。

参考 メニューバーの[グラフ(G)]-[縮小(O)]を選択した場合も操作の手順を行えます。

参考 全体表示エリアのグラフカーソルの左右の枠をドラッグしても縮小することができます。

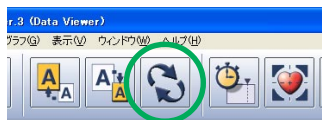


縮小

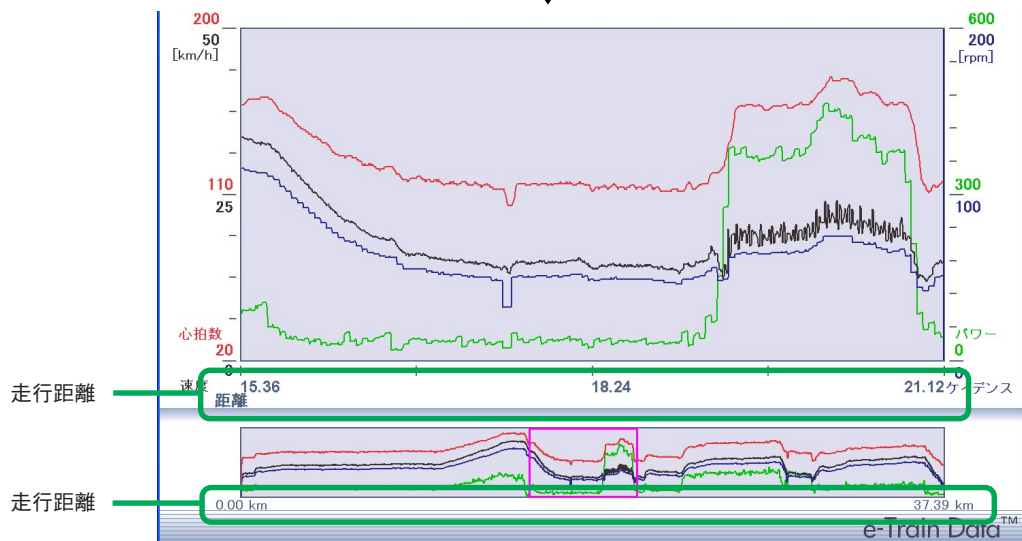
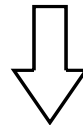
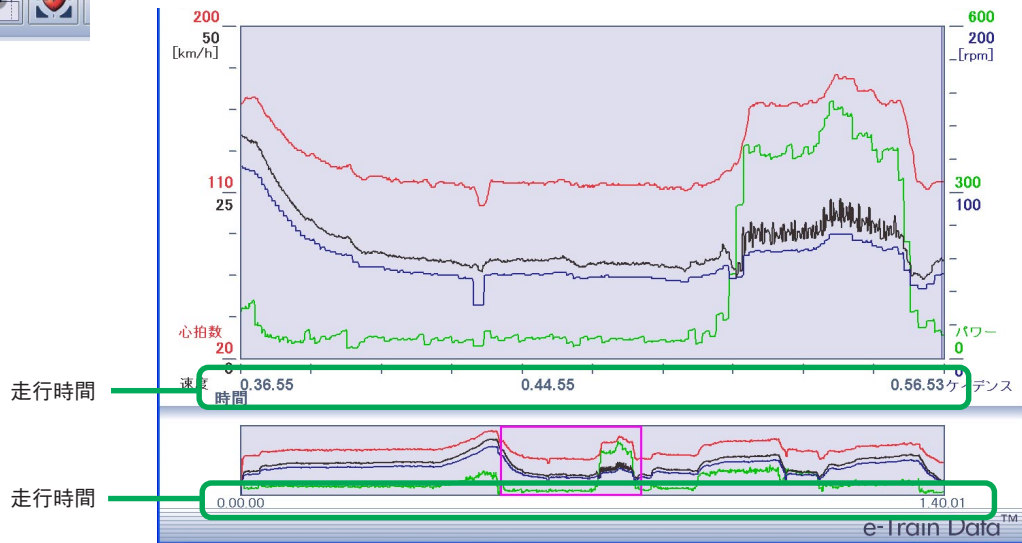
グラフの横軸を切り替える

ツールバーの「軸切り替え」ボタンをクリックするとグラフの横軸が時間から距離に替ります。もう一度、クリックすると元の状態に戻ります。

参考 メニューバーの[グラフ(G)]-[横軸を変更(C)]を選択した場合も同様の操作を行います。

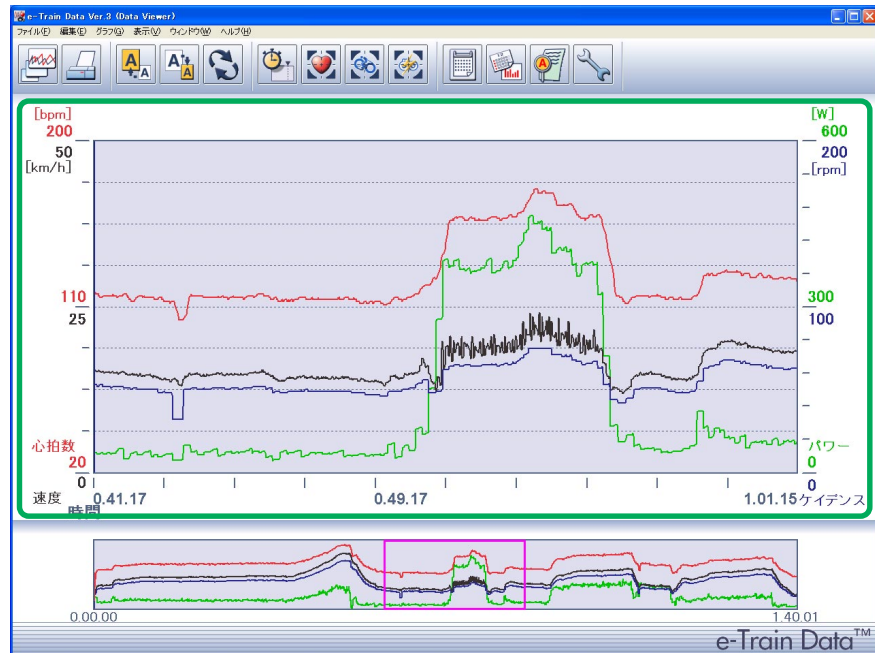


軸切り替え



部分表示エリアに目盛りを表示させる

1. 部分表示エリアの端の目盛りをクリックします。
左側の目盛りをクリックすると、心拍数・速度の目盛りが部分表示エリアに表示され、右側の目盛りをクリックするとケイデンス・パワーの目盛りが部分表示エリアに表示されます。
2. もう一度目盛りをクリックすると部分表示エリアの目盛りが消えます。



計測データを管理する



データリスト

ツールバーの「データリスト」ボタンをクリックするとデータリストダイアログが表示されます。

参考 メニューバーの[ファイル(F)]-[データリスト(D)]を選択した場合も同様の操作を行います。



- 一覧表には日付・名前・走行時間・走行距離・平均速度が表示され、日付順に上から表示されます。
日付・名前・走行時間・走行距離・平均速度をクリックすると、それぞれの項目順に並びかえられます。
一覧表をクリックしてボタンをクリックすると、それぞれの動作を実行します。
- 開く ----- 一覧表で選択した計測データをメイン画面にグラフ表示します。
- 削除 ----- 一覧表で選択した計測データを削除します。
- インポート ----- 他のファイル形式の計測データをe-Train Data Ver.3で使える形式に変換し、データリストに追加します。
- エクスポート ----- 一覧表で選択した計測データを他のファイル形式に変換します。
- データリスト ----- この画面では機能しません。
- 予定表 ----- 予定表のダイアログボックスを表示します。
- ユーザー ----- 一覧表を選択したユーザーのみの表示にします。[すべて]を選択すると登録している全ユーザーのリストが表示されます。
- 閉じる ----- データリストダイアログを閉じます。

計測データを開く

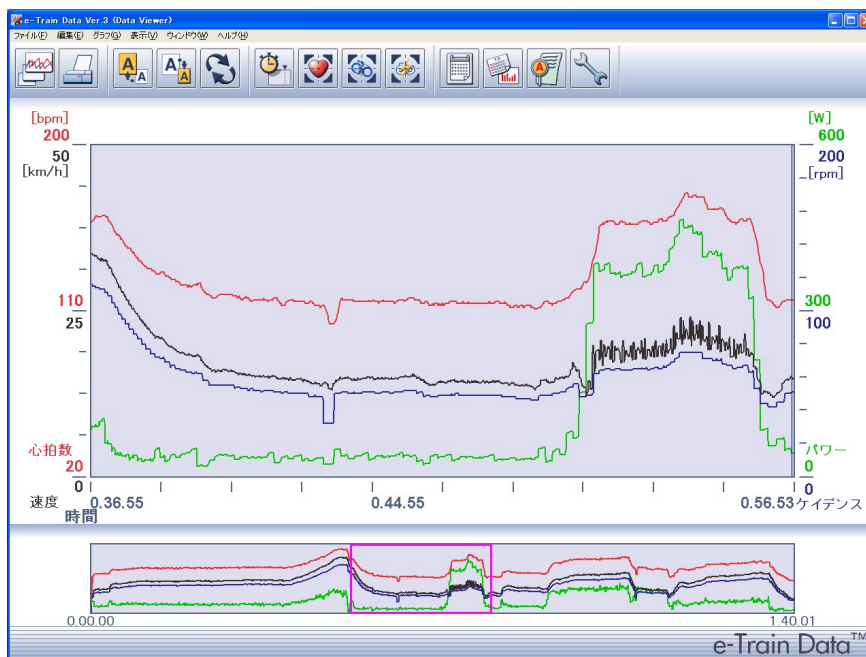
計測データを開いてメイン画面にグラフ表示させます。

1. 一覧表から表示したい計測データを選択します。





2. 「開く」ボタンをクリックします。
計測データがメイン画面にグラフ表示されます。



計測データを削除する

計測データをデータリストから削除します。

重要 一度削除した計測データはもとに戻すことはできません。削除する場合はよく確認して行ってください。

1. 一覧表から削除したい計測データを選択します。

日付	名前	走行時間	走行距離	平均速度
2005/3/27	田中	1.00.09	17.34km	17.30km/h
2005/3/27	山本	1.04.20	16.73km	15.60km/h
2005/3/26	松本	0.40.12	19.43km	29.00km/h
2005/3/26	中村	1.11.21	26.76km	22.50km/h
2005/3/26	吉田	1.05.48	17.85km	16.88km/h
2005/3/24	田中	1.18.07	34.11km	26.20km/h
2005/3/26	松本	1.07.43	15.88km	17.58km/h
2005/3/23	山本	0.44.32	13.58km	18.30km/h
2005/3/22	中村	1.25.21	25.18km	17.70km/h
2005/3/22	吉田	1.09.00	33.70km	29.30km/h
2005/3/22	田中	0.36.52	15.98km	26.00km/h
2005/3/20	松本	1.19.11	31.67km	24.00km/h



2. 「削除」ボタンをクリックします。
確認画面が表示されます。
3. 「OK」ボタンをクリックします。
計測データが一覧表から削除されます。

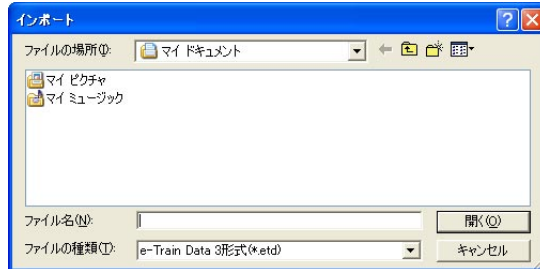
計測データをインポートする

CSV形式または、etd形式のデータをe-Train Data Ver.3で使用できる形式に変換します。

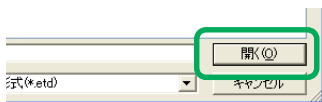
重要 エクセル等で修正をしたデータをインポートした場合正常に表示できない場合があります。
e-Train Data Ver.3でエクスポートしたファイルのみをインポートしてください。

1. 「インポート」ボタンをクリックします。ファイルの選択画面が表示されます。

参考 メニューバーの[ファイル(F)]-[インポート(I)]を選択した場合も同様の操作を行えます。



2. インポートするファイルを選択し、「開く(O)」ボタンをクリックします。
インポートされたファイルが一覧表に追加されます。



計測データを他のファイル形式に変換する

e-Train Data Ver.3の計測データは独自の形式で保存されています。エクスポートすることにより指定した計測データをCSV形式または、etd形式に変換することができます。

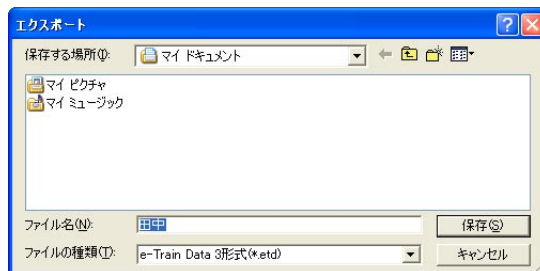
変換した計測データはバックアップや、他のパソコンへの計測データの移動を行うために使用します。

1. 一覧表から変換したい計測データを選択します。

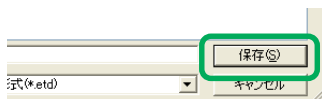


2. 「エクスポート」ボタンをクリックします。ファイルの保存画面が表示されます。

参考 メニューバーの[ファイル(F)]-[エクスポート(E)]を選択した場合も同様の操作を行えます。



3. 保存名と、保存形式を選択して「保存(S)」ボタンをクリックします。
計測データが選択した形式で書き出されます。



トレーニングの予定表を作る



データリストダイアログ内の「**予定表**」ボタンを押すと予定表ダイアログが表示されます。予定表ダイアログではユーザーごとのトレーニングの予定表を作ることができます。



予定表はカレンダー表示になっています。

予定表には以下のアイコンが表示されます。

📍 予定アイコン ----- 走行する予定がある日に表示します。アイコンをクリックすると予定名を表示します。複数ある場合は選択できます。予定名を選択すると予定の詳細を見ることができます。

📄 データアイコン ----- ダウンロードしたデータがある日に表示します。アイコンをクリックするとデータ名を表示します。複数ある場合は選択できます。データ名を選択するとデータをメイン画面に表示します。

予定表内のボタンをクリックすると、それぞれの動作を実行します。

予定の追加 ----- 予定表に新しい予定を追加します。

予定の読み込み ----- 保存している予定を読み込んで予定表に追加します。

予定の保存 ----- 「ユーザー」プルダウンで選択しているユーザーの予定を保存します。

データリスト ----- データリストのダイアログボックスを表示します。

予定表 ----- この画面では機能しません。

ユーザー ----- 予定表を選択したユーザーのみの表示にします。「すべて」を選択すると登録している全ユーザーの予定表が表示されます。

閉じる ----- 予定表ダイアログボックスを閉じます。

予定を追加する

予定表に新しい予定を追加します。

1. 「ユーザー」プルダウンをクリックして、予定を追加したいユーザーを選択します。

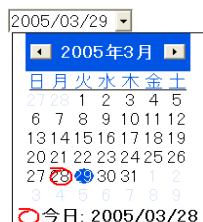




2. 「予約の追加」ボタンをクリックします。
予約の追加ダイアログが表示されます。

3. 予約を追加したい日付を入力します。

参考 日付のプルダウンをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーの日付をクリックすると選択した日付が入力されます。



左右の矢印ボタンで月を変更できます。

4. 走行を行なう時間を入力します。

5. 走行の内容を入力します。

6. 「OK」ボタンをクリックします。
予定表に予定が追加されます。

予定を読み込む

pIn形式のデータを読み込んで予定表に追加します。

1. 「**予定の読込**」ボタンをクリックします。
ファイルの選択画面が表示されます。

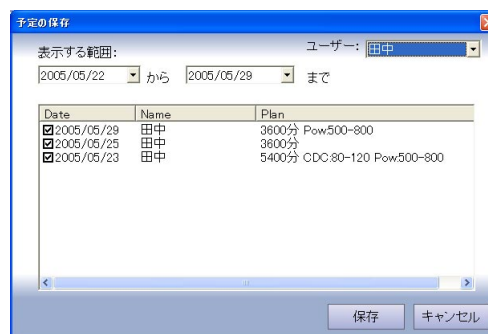
2. 読み込みたいファイルを選択して「**開く(O)**」ボタンをクリックします。
予定表に予定が読み込まれます。

予定を保存する

1. 「ユーザー」プルダウンをクリックして、予定を保存したいユーザーを選択します。



2. 「予定の保存」ボタンをクリックします。



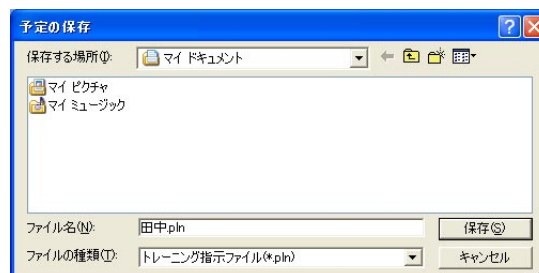
3. 現在設定されている予定がリスト表示されるので、保存する予定にチェックを入れます。リストに表示する予定の範囲を変更するときは、「表示する範囲」の項目を変更します。

4. 「保存」ボタンをクリックします。

ファイルの選択画面が表示されます。



5. 保存名を入力して「保存(S)」ボタンをクリックします。
予定が保存されます。



計測データを印刷する

表示しているグラフを「印刷」ボタンで印刷することができます。



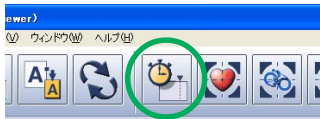
1. ツールバーの「印刷」ボタンをクリックします。
「印刷」のダイアログボックスが表示されます。



2. 各種設定を確認後「OK」ボタンをクリックします。
表示している計測データがプリントアウトされます。
- 参考** 数値情報とグラフは画面に表示している内容でプリントアウトされます。

ラップデータを表示する

ラップデータをダウンロードしている場合は「ラップデータ」ボタンでグラフにラップポイントを表示することができます。



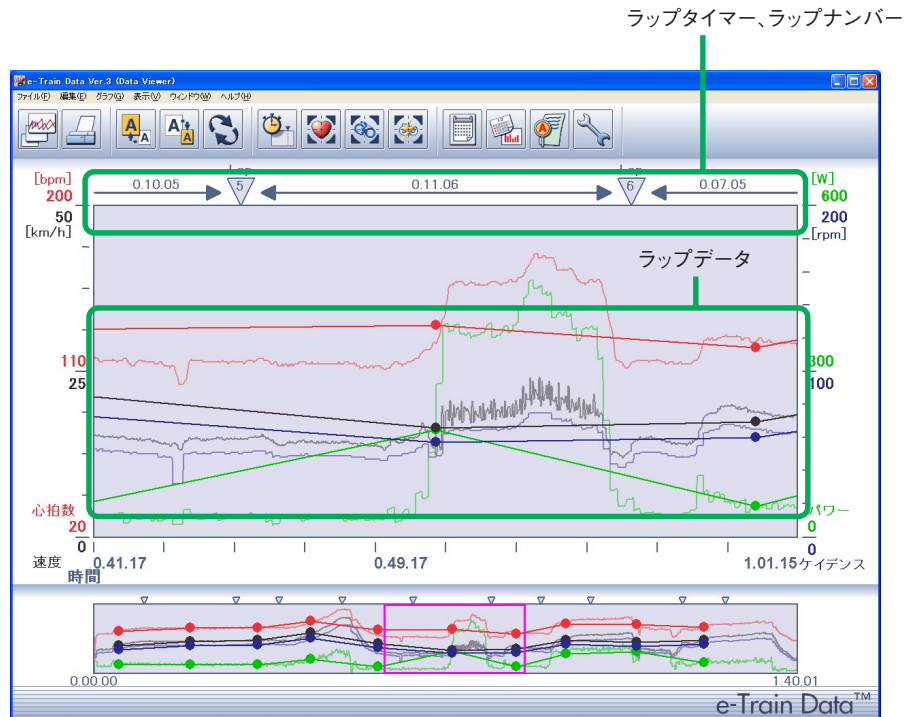
ラップデータ

1. ツールバーの「ラップデータ」ボタンをクリックします。

グラフにラップデータが表示されます。ラップポイントは○で繋がったグラフで表示されます。

参考

- ・メニューバーの[表示(V)]-[ラップデータ(L)]を選択した場合も同様の操作を行えます。
- ・ラップデータを表示している状態でラップタイマー、ラップナンバーをクリックするとラップナンバーの下に目盛りが表示されます。



2. もう一度、ツールバーの「ラップデータ」ボタンをクリックすると、ラップデータの表示が消えます。

心拍ゾーンを表示する

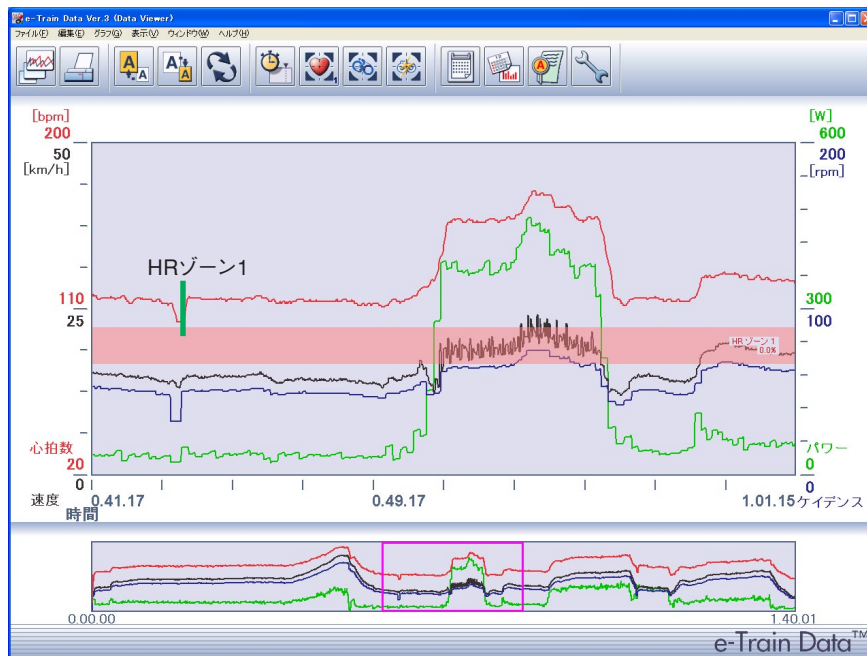
心拍ゾーンを表示します。



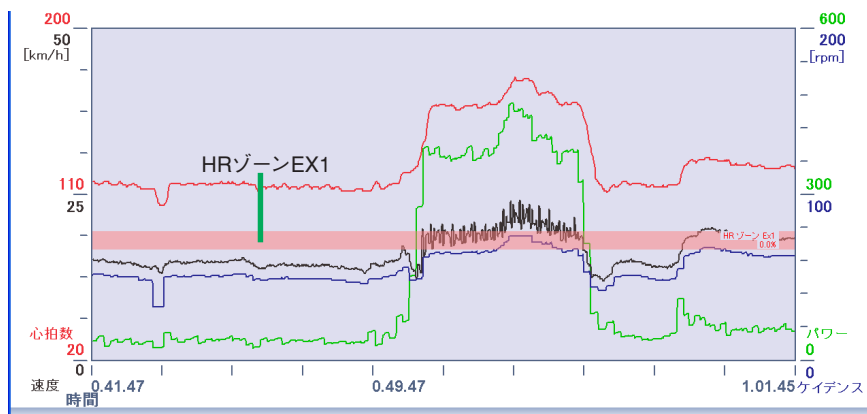
HRゾーン

1. ツールバーの「HRゾーン」ボタンをクリックします。
部分表示エリアに心拍ゾーン (HRゾーン1) が表示されます。

参考 メニューバーの「表示(V)」-「心拍数ゾーン(H)」を選択した場合も同様の操作を行います。



2. ツールバーの「HRゾーン」ボタンをクリックするごとにHRゾーン1～4、エクストラゾーンEX1～EX6の順で切り替わり表示されます。



心拍 (HR) ゾーンについて

HRゾーンはCC-TR100で設定しているHRゾーン1～4とe-Train Data Ver.3で設定できるエクストラゾーン (EX1～6) の合わせて最大10ゾーンを表示できます。各エクストラゾーンは表示・非表示の選択と範囲を自由に変更できデータの解析に役立てることができます。(47ページ参照) 非表示を選択するとそのゾーンはグラフ上でスキップされます。

HRエクストラゾーンの初期値は以下の通りです。

- | | | |
|------|-----------|----|
| EX1: | 80 ～ 90 | 表示 |
| EX2: | 90 ～ 100 | 表示 |
| EX3: | 100 ～ 110 | 表示 |
| EX4: | 110 ～ 120 | 表示 |
| EX5: | 120 ～ 130 | 表示 |
| EX6: | 130 ～ 140 | 表示 |

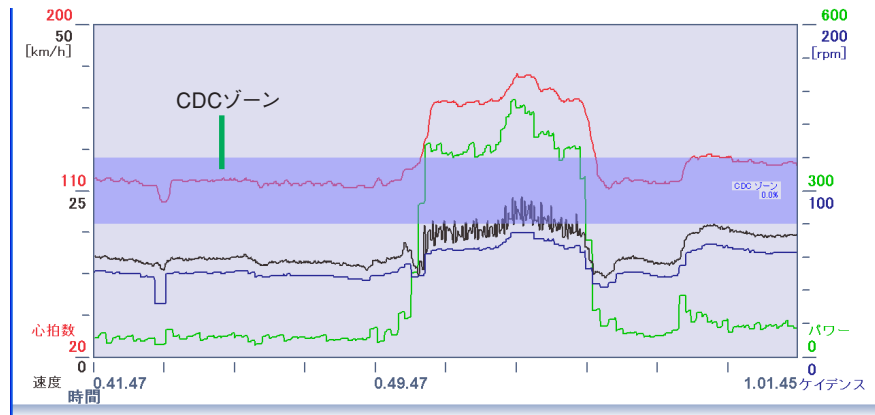
ケイデンスゾーンを表示する



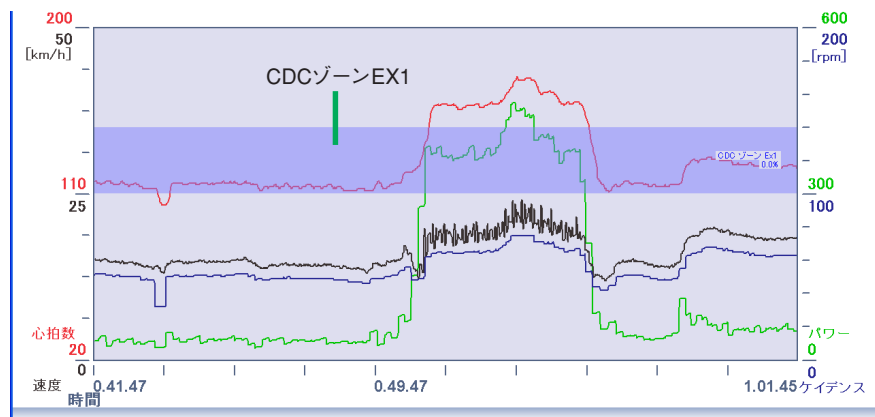
CDCゾーン

1. ツールバーの「CDCゾーン」ボタンをクリックします。
部分表示エリアにケイデンスゾーン(CDCゾーン)が表示されます。

参考 メニューバーの[表示(V)]-[ケイデンスゾーン(C)]を選択した場合も同様の操作を行います。



2. ツールバーの「CDCゾーン」ボタンをクリックするごとにCDCゾーン、エクストラゾーンEX1～EX4の順で切り替わり表示されます。



ケイデンス (CDC) ゾーンについて

CDCゾーンはCC-TR100で設定しているCDCゾーンとe-Train Data Ver.3で設定できるエクストラゾーン(EX1～4)の合わせて最大5ゾーンを表示できます。各エクストラゾーンは表示・非表示の選択と範囲を自由に變更できデータの解析に役立てることができます。(47ページ参照)非表示を選択するとそのゾーンはグラフ上でスキップされます。

CDCエクストラゾーンの初期値は以下の通りです。

- EX1: 100 ～ 140 表示
- EX2: 120 ～ 160 表示
- EX3: 140 ～ 180 表示
- EX4: 160 ～ 200 表示

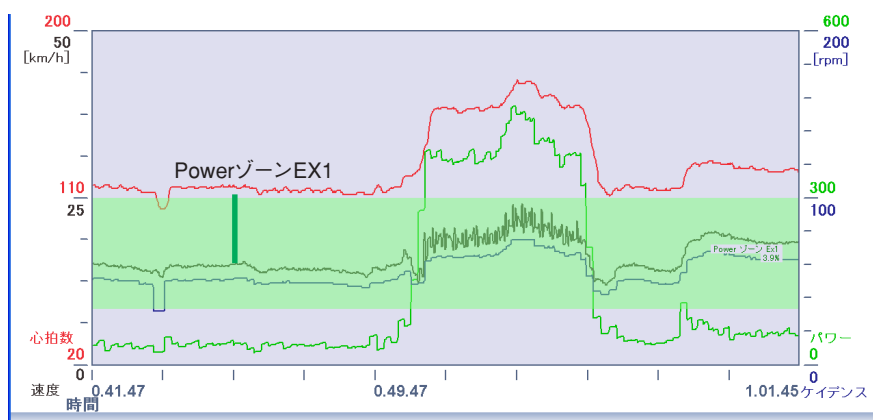
パワーゾーンを表示する

1. ツールバーの「パワーゾーン」ボタンをクリックします。
部分表示エリアにパワーゾーン (PowerゾーンEX1) が表示されます。

参考 メニューバーの[表示(V)]-[パワーゾーン(P)]を選択した場合も同様の操作を行えます。



パワーゾーン



2. ツールバーの「パワーゾーン」ボタンをクリックするごとにパワーゾーンとしてエクストラゾーンEX1～EX10の順で切替り表示されます。

パワーゾーンについて

パワーゾーンはe-Train Data Ver.3で設定できるエクストラゾーン (EX1～10) で最大10ゾーンを表示できます。各エクストラゾーンは表示・非表示の選択と範囲を自由に変更できデータの解析に役立てることができます。(47ページ参照)

非表示を選択するとそのゾーンはグラフ上でスキップされます。

パワーエクストラゾーンの初期値は以下の通りです。

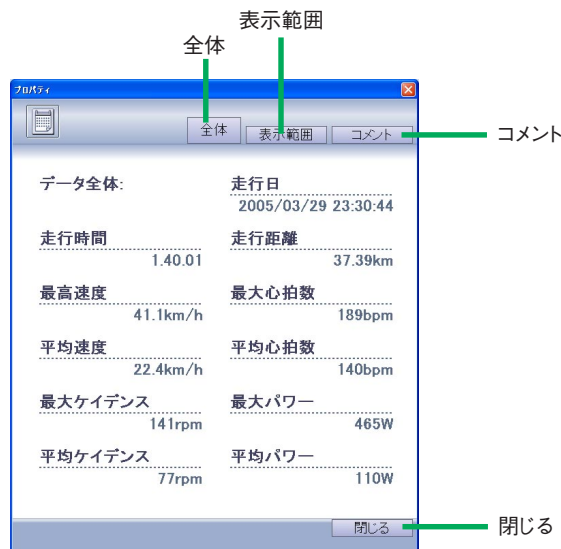
EX1:	100 ～ 300	表示
EX2:	300 ～ 500	表示
EX3:	500 ～ 700	表示
EX4:	700 ～ 900	表示
EX5:	900 ～ 1100	表示
EX6:	1100 ～ 1300	表示
EX7:	1300 ～ 1500	表示
EX8:	1500 ～ 1700	表示
EX9:	1700 ～ 1900	表示
EX10:	1900 ～ 2100	表示

計測データのプロパティを表示する

計測データの概要を表示する

ツールバーの「プロパティ」ボタンをクリックするとプロパティダイアログが表示されます。
表示中の計測データのプロパティを表示します。

参考 メニューバーの[ウィンドウ(W)]-[プロパティ(P)]を選択した場合も同様の操作を行えます。



ボタンをクリックすると次の動作が実行されます。

全体 ----- 計測データ全体の概要を表示します。ツールバーから「プロパティ」ボタンを押したときは、この画面が表示されます。

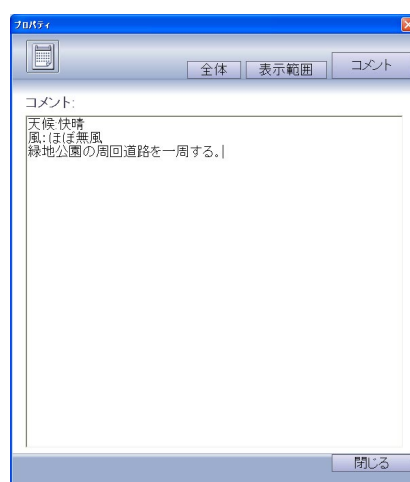
表示範囲 ----- 部分表示エリアに表示されている範囲の概要を表示します。

コメント ----- 計測データにコメントを入力することができます。

閉じる ----- プロパティダイアログを閉じます。

データにコメントを入れる

1. プロパティダイアログの「コメント」ボタンをクリックするとコメント入力欄が表示されます。
コメントを入力します。



2. コメントを入力し終わったら、「閉じる」ボタンをクリックします。
コメントが計測データに保存されます。

データの統計を表示する

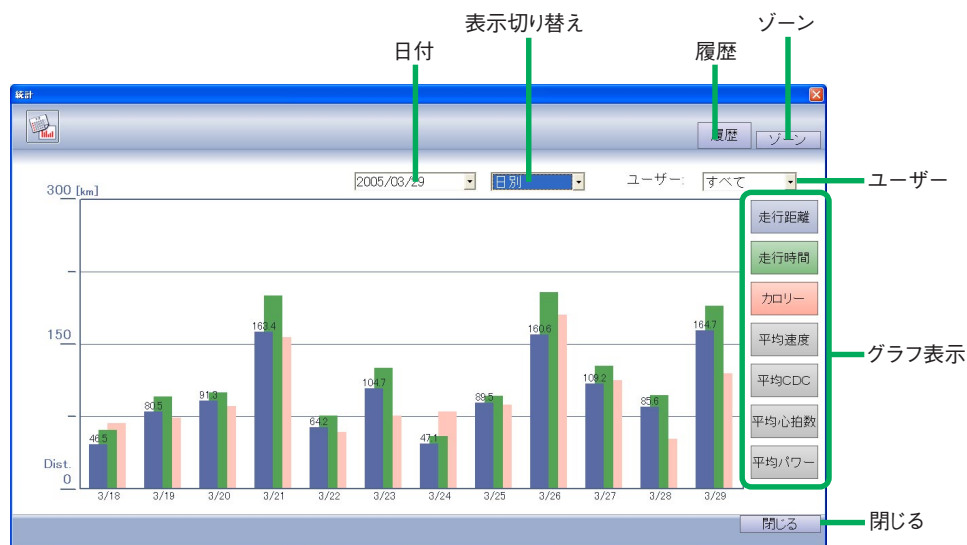
e-Train Data Ver.3に保存されている計測データを縦線グラフで表示します。過去のデータと見比べたり、ゾーン滞留時間を調べたりできます。

計測データの履歴を表示する

ツールバーの「統計」ボタンをクリックすると統計ダイアログが表示されます。

過去の計測データの履歴を縦線グラフで表示します。

参考 メニューバーの「ウィンドウ(W)」-「統計(S)」を選択した場合も同様の操作を行います。



ボタンまたは、プルダウンを操作すると次の動作が実行されます。

日付 ----- 選択した日付から前の日付をグラフ表示します。

表示切り替え ----- グラフの表示を「日別」、「週別」、「月別」、「年別」に切り替えます。

履歴 ----- この画面では押しても機能しません。

ゾーン ----- 過去の計測データのゾーン滞留時間をグラフ表示します。

ユーザー ----- 選択したユーザーの統計を表示します。「すべて」を選択すると登録している全ユーザーの統計が表示されます。

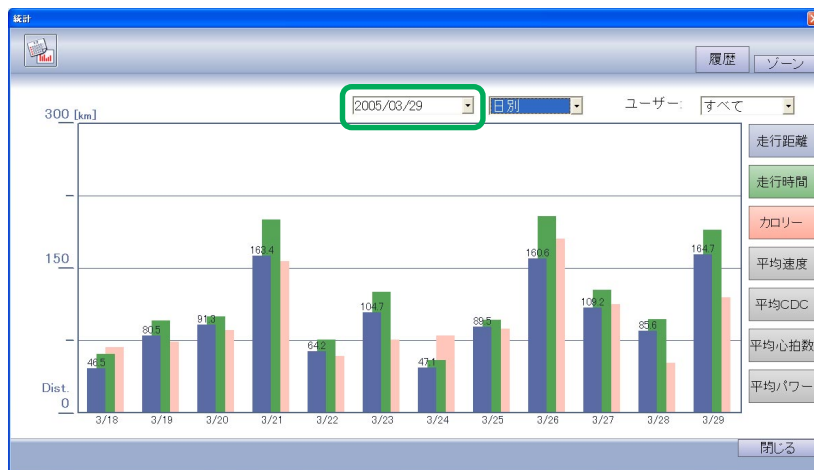
グラフ表示 ----- クリックしたボタンに対応した色の表がグラフの最前面に表示されます。グラフは最大3個まで表示し、過去に表示したものから色が薄くなります。

閉じる ----- 統計ダイアログを閉じます。

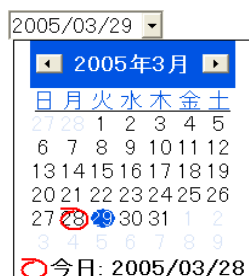
1. 「ユーザー」プルダウンをクリックして、履歴を表示させたいユーザーを選択します。



2. 履歴を表示させる日付を入力します。
 入力した日付より前の計測データの履歴がグラフ表示されます。



参考 「日付」プルダウンをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーの日付をクリックすると選択した日付が入力されます。
 左右の矢印ボタンで月を変更できます。



3. 「表示切り替え」プルダウンをクリックして、**[日別]**、**[週別]**、**[月別]**、**[年別]**を選択します。



4. 「グラフ表示」ボタンをクリックして表を表示させます。



クリックしたボタンに対応した色の表がグラフの最前面に表示されます。グラフは最大3個まで表示し、過去に表示したものから色が薄くなります。

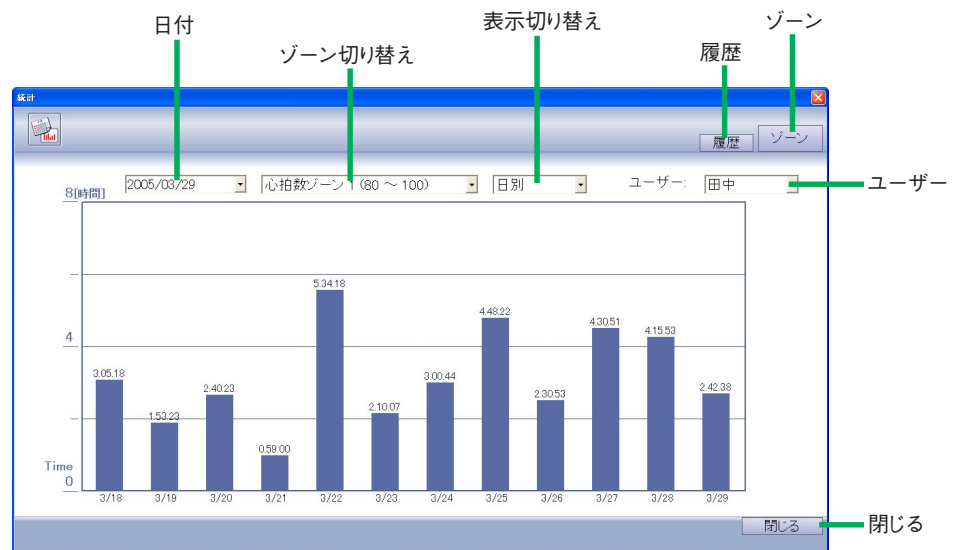
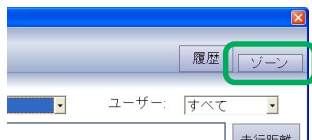
また、グラフの数値は最前面のみ表示されます。

関連性のあるグラフを表示させてデータを比較させることができます。



過去のゾーンの滞留時間をグラフ表示する

統計ダイアログの「ゾーン」ボタンをクリックするとゾーン表示になります。
ゾーンごとの滞留時間を縦線グラフで表示します。



ボタンまたは、プルダウンを操作すると次の動作が実行されます。

日付 ----- 選択した日付から前の日付をグラフ表示します。

ゾーン切り替え ----- グラフ表示させたいゾーンを選択します。

表示切り替え ----- グラフの表示を[日別]、[週別]、[月別]、[年別]に切り替えます。

履歴 ----- 過去の計測データの履歴をグラフ表示します。

ゾーン ----- この画面では機能しません。

ユーザー ----- 選択したユーザーの統計を表示します。[すべて]を選択すると登録している全ユーザーの統計が表示されます。

閉じる ----- 統計ダイアログを閉じます。

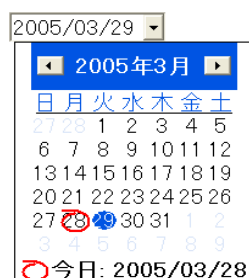
1. 「ユーザー」プルダウンをクリックして、ゾーンを表示させたいユーザーを選択します。



- ゾーンを表示させる日付を入力します。
入力した日付より前の計測データのゾーンがグラフ表示されます。



参考 日付のプルダウンをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーの日付をクリックすると選択した日付が入力されます。
左右の矢印ボタンで月を変更できます。



- 「表示切り替え」プルダウンをクリックして、「日別」、「週別」、「月別」、「年別」を選択します。

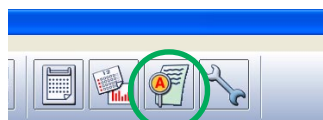


4. 「ゾーン切り替え」プルダウンをクリックして、表示させるゾーンを選択します。

参考 「セットアップ」ボタンのユーザー設定でゾーン追加をしている場合は、プルダウンに登録したゾーンが表示されます。(47ページ参照)



計測データを分析する

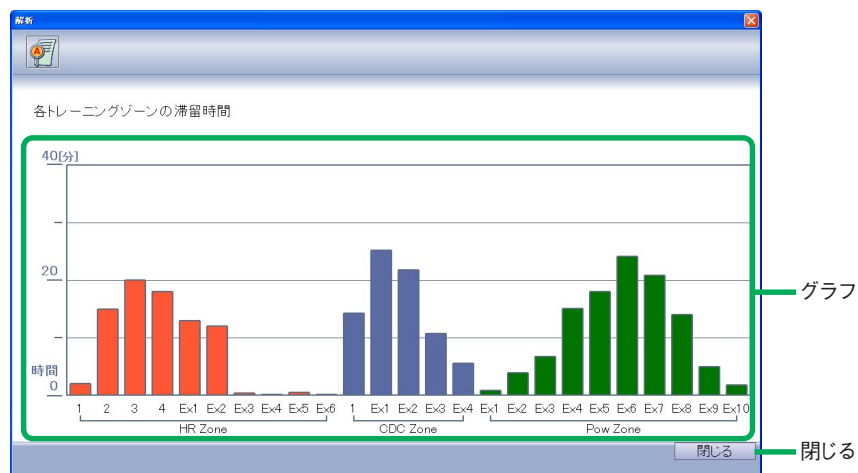


分析

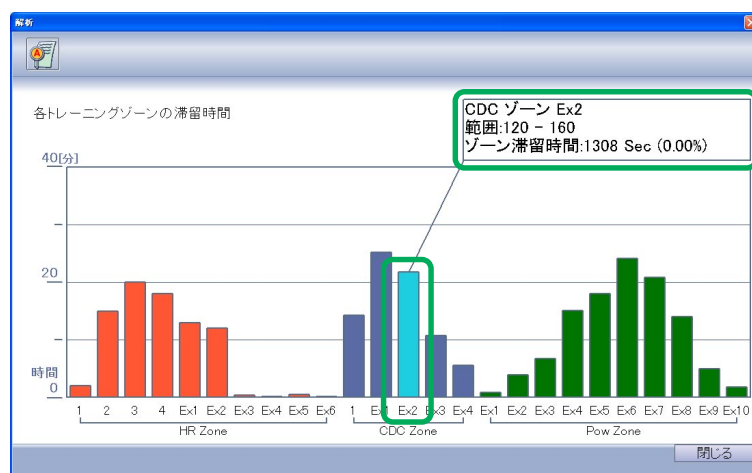
ツールバーの「分析」ボタンをクリックすると解析ダイアログが表示されます。

参考 メニューバーの「ウィンドウ(W)」-「解析(A)」を選択した場合も同様の操作を行います。

解析ダイアログでは表示している計測データをゾーンごとに縦線グラフで表示し、ターゲットゾーンを利用した分析ができます。



グラフをクリックすると、クリックしたグラフの詳細が表示されます。



参考 EXのグラフは、「セットアップ」ボタンのユーザー設定でゾーン追加をしている場合のみグラフが表示されます。(47ページ参照)

「閉じる」ボタンをクリックすると解析ダイアログを閉じることができます。

設定を変更する



セットアップ

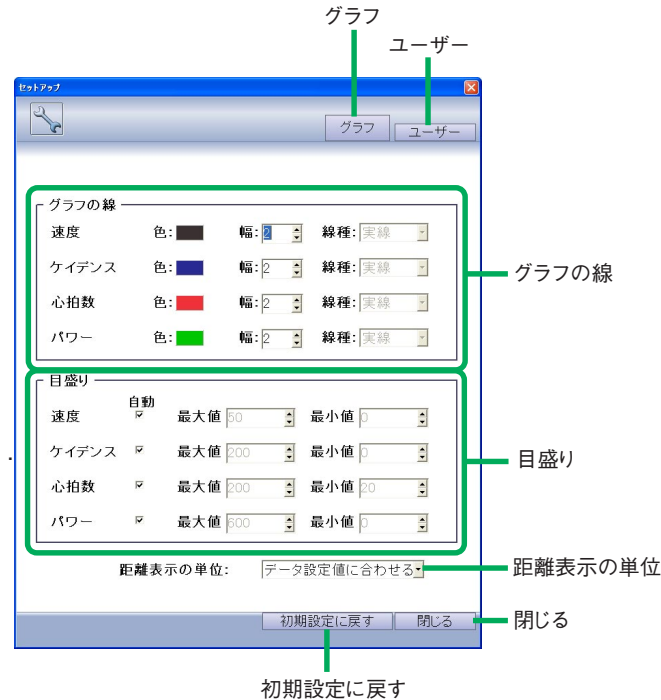
ツールバーの「**セットアップ**」ボタンをクリックしてセットアップダイアログを表示します。

セットアップダイアログではe-Train Data Ver.3の設定変更、CC-TR100の設定変更、ユーザー個別の設定ができます。

参考 メニューバーの[編集(E)]-[設定(C)]を選択した場合も同様の操作を行います。

e-Train Data Ver.3の設定を変更する

e-Train Data Ver.3のグラフ表示の設定を変更します。



各項目は次の動作を行います。

グラフ ----- この画面では機能しません。

ユーザー ----- ユーザーの設定変更画面を表示します。

グラフの線 ----- 速度、ケイデンス、心拍数、パワーの線の色、線幅、線種を変更できます。

目盛り ----- 速度、ケイデンス、心拍数、パワーのグラフ表示の幅を設定できます。自動にチェックを入れると、計測データが読み込まれたときに自動的に目盛りを調節します。

距離表示の単位 -- 距離の表示をキロメートルかマイルに変更します。「**データ設定値に合わせる**」を選択した場合は、計測データに保存されている単位で表示されます。

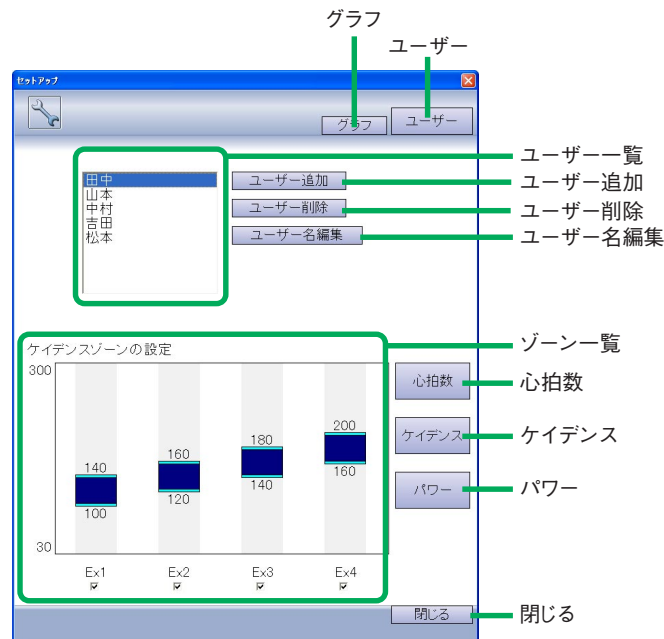
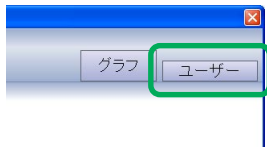
初期設定に戻す -- 現在変更している設定をインストール時の設定に戻します。

閉じる ----- 変更している設定を保存して閉じます。

ユーザーの設定を変更する

セットアップダイアログの「ユーザー」ボタンをクリックするとユーザーの設定変更画面が表示されます。ユーザーの登録や、エクストラゾーンの変更が行えます。

重要 ここでのゾーン設定はe-Train Data Ver.3上で表示するエクストラゾーンを設定するものです。CC-TR100で設定したゾーンには影響を与えません。



各項目は次の動作を行います。

グラフ ----- e-Train Data Ver.3の設定変更画面を表示します。

ユーザー ----- この画面では機能しません。

ユーザー一覧 ----- 登録されているユーザーの一覧を表示しています。設定する場合はユーザーを選択して各ボタンをクリックします。

ユーザー追加 ----- 新しいユーザーを追加します。

ユーザー削除 ----- ユーザー一覧で選択されているユーザーを削除します。

ユーザー名編集 ----- ユーザー一覧で選択されているユーザーの名前を変更します。

ゾーン一覧 ----- ユーザー一覧で選択されているユーザーが設定しているゾーン範囲の確認と変更ができます。またチェックボックスで部分表示エリアでの表示・非表示を選択できます。

ゾーンの範囲を変更するには、ゾーン一覧内のグラフ上辺もしくは下辺をドラッグするか、ゾーン上辺・下辺の数値をクリックして直接数値入力してください。

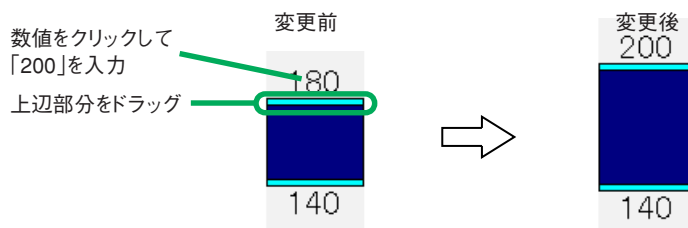
心拍数 ----- ゾーン一覧に心拍数ゾーンを表示します。

ケイデンス ----- ゾーン一覧にケイデンスゾーンを表示します。

パワー ----- ゾーン一覧にパワーゾーンを表示します。

閉じる ----- セットアップダイアログを閉じます。

例：上限値を180から200に変更する場合



e-Train Data Ver.3の終了

e-Train Data Ver.3を終了します。

1. ファイルメニューの「終了」をクリックします。

e-Train Data Ver.3が終了します。

オンライン計測

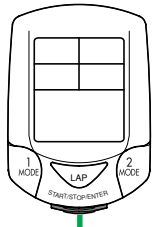
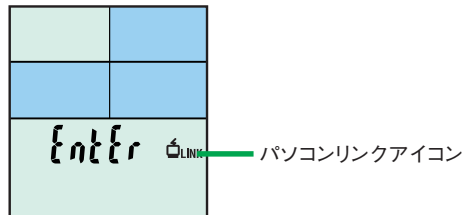
オンライン計測はパソコンと自転車を直結し、パソコン上にトルクのグラフを表示しながら計測をする機能です。

重要 パワーユニットを装着している場合のみ、オンライン計測を行うことができます。

オンライン計測の方法

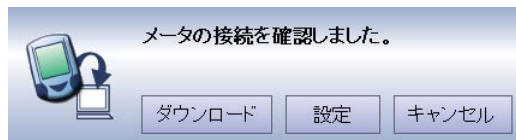
パワーユニットとパソコンの接続を行います。

1. CC-TR100をパワーユニットに装着します。
2. CC-TR100の「MENU」ボタンを押します。
3. CC-TR100の「MODE-2」ボタンを数回押し、パソコンリンクアイコンを点灯させます。



START/STOP/ENTERボタン

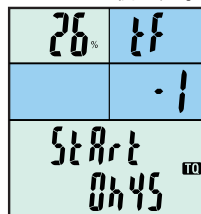
4. CC-TR100の「START/STOP/ENTER」ボタンを押します。
パソコンがCC-TR100の接続を確認したら「メータの接続を確認しました。」とメッセージが表示されます。



CC-TR100の表示パネルには「オンライントルク計測」画面が表示され準備完了です。

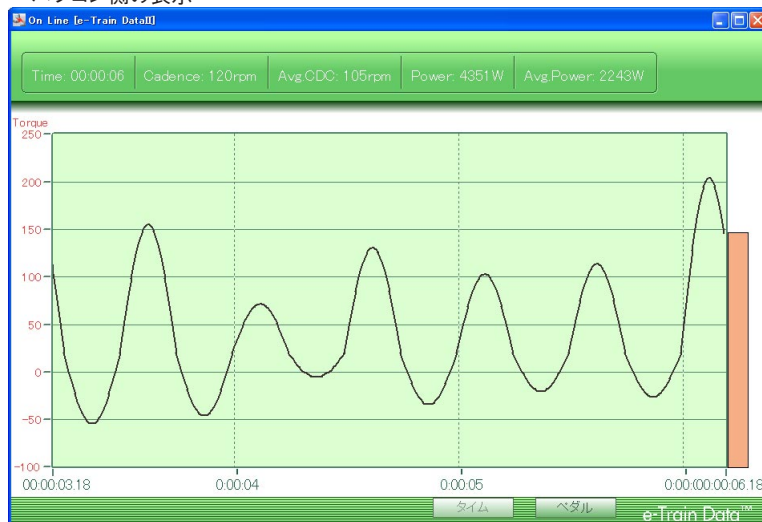
重要 パワーセレクトがOFFの場合は接続できません。オンライン計測の前にCC-TR100の設定でパワーセレクトをオンにしてください。

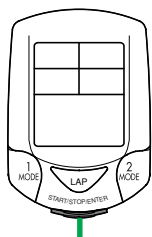
CC-TR100側の表示



5. CC-TR100の「START/STOP/ENTER」ボタンを押します。
パソコンにグラフが表示され計測が始まります。ペダリングを開始してください。

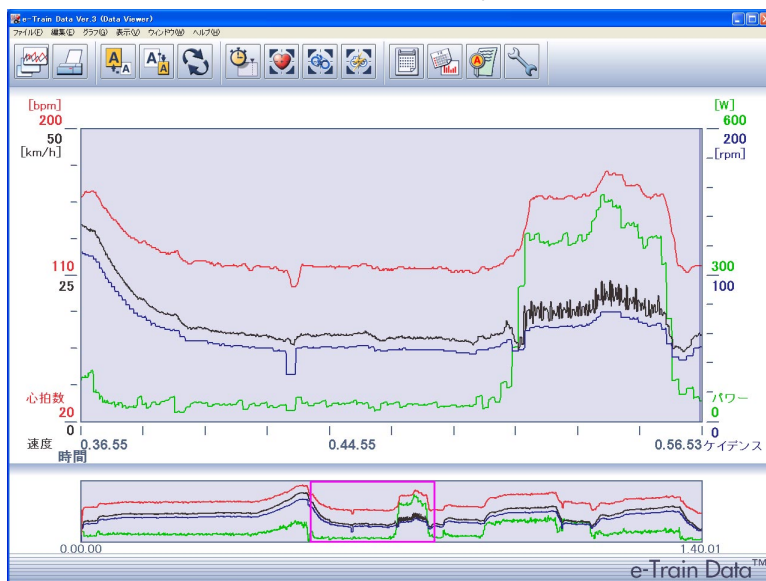
パソコン側の表示





START/STOP/ENTERボタン

6. 終了するときは、CC-TR100の「START/STOP/ENTER」ボタンを押します。
オンライン計測画面が終了し、計測データがパソコンに送信されます。
重要 計測データの送信は2〜3分かかります。しばらくお待ちください。
7. e-Train Data Ver.3に計測結果が表示されます。



計測結果が表示されたら、CC-TR100 の START/STOP/ENTER ボタンを押して終了します。

オンライン計測画面の構成

オンライン計測にはタイム画面とペダル画面があります。それぞれの画面は計測中に切り替えることができます。

タイム画面

トルク値のグラフを時間軸で表示します。

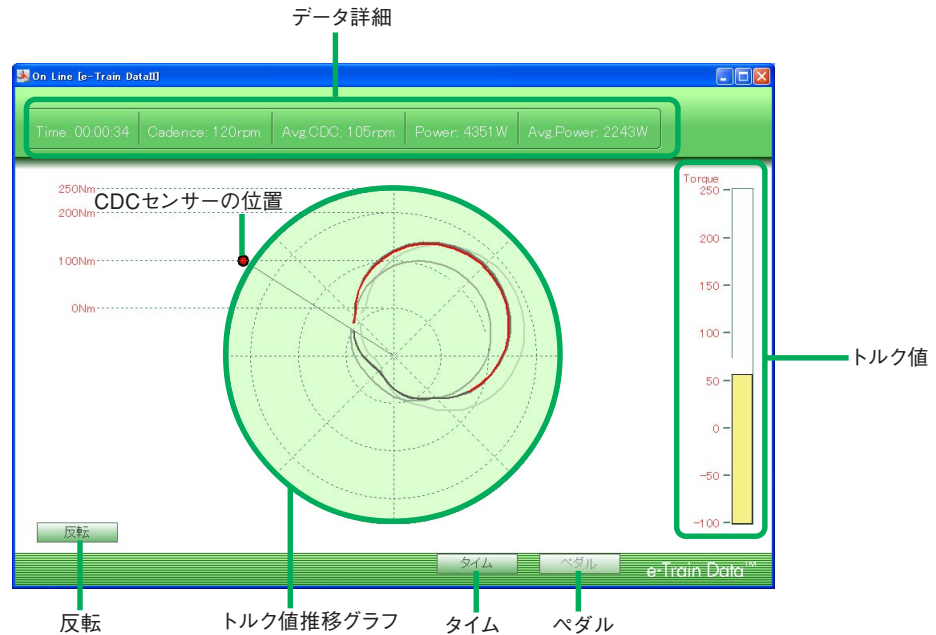


各項目は次の動作を行います。

- データ詳細 ----- 計測中のデータの走行時間、現在のケイデンス、平均ケイデンス、現在のパワー、平均のパワーを表示します。
- トルク値 ----- 現在のトルク値をバーで表示しています。数値によって色が変わります。
- トルク値推移グラフ --- トルク値の推移をグラフ表示します。
- タイム ----- この画面では機能しません。
- ペダル ----- タイム画面をペダル画面に変更します。

ペダル画面

ペダル画面は自転車を横に見立て、どの位置にトルクがかかっているかを分かりやすくグラフにしています。



各項目は次の動作を行います。

データ詳細 ----- 計測中のデータの走行時間、現在のケイデンス、平均ケイデンス、現在のパワー、平均のパワーを表示します。

トルク値 ----- 現在のトルク値をバーで表示しています。数値によって色が変わります。

CDCセンサーの位置 -- CDCセンサーの位置を設定します。ドラッグして、CDCセンサーが設置してある箇所に移動させます。

トルク値推移グラフ ---- 赤い色が最新のトルク値です。時間がたつにつれ色が薄くなります。

タイム ----- ペダル画面をタイム画面に変更します。

ペダル ----- この画面では機能しません。

反転 ----- トルク値の推移グラフを左右対象に反転します。

実際のCDCセンサーの位置に合わせてグラフ上の赤い丸を移動させると正確なグラフが表示されます。力が強くかかっている箇所が大きい円になります。

クイックリファレンス

アイコン	ツールバー	ボタン	説明
	データリスト	データリスト	ダウンロードした計測データのリストを表示し、計測データの表示・削除・インポート・エクスポートができます。
		予定表	計測の予定や、ダウンロードした計測データをカレンダーに表示します。
	印刷		計測データをプリントします。
	拡大		部分表示エリアのグラフを拡大して表示します。
	縮小		部分表示エリアのグラフを縮小して表示します。
	軸切り替え		部分表示エリアの横軸を走行時間、または走行距離に切替えます。
	ラップデータ		ラップデータの表示/非表示を切り替えます。
	HRゾーン		心拍ゾーンを表示します。
	CDCゾーン		ケイデンスゾーンを表示します。
	パワーゾーン		パワーゾーンを表示します。
	プロパティ	全体	計測データの全体の概要を表示します。
		表示範囲	部分表示エリアに表示している範囲の概要を表示します。
		コメント	計測データにコメントを入れます。
	統計	履歴	ダウンロードしたデータをまとめてグラフ表示します。
			ダウンロードしたデータのトレーニングゾーンをグラフ表示します。
	分析	ゾーン	表示している計測データのトレーニングゾーンをグラフ表示します。
	セットアップ	グラフ	グラフの設定を変更します。
		メータ	パソコンからCC-TR100の設定を変更します。
		ユーザー	ユーザーの設定を変更します。

トラブルと処置

故障かなと思う前に次の点を確認してください。

e-Train Data Ver.3がうまくインストールできない。

お使いになるパソコンはe-Train Data Ver.3を使用するうえで必要な要件を満たしていますか？

e-Train Data Ver.3を使用するには5ページに記載されたハードおよびソフト環境が必要です。

CC-TR100のデータがダウンロードできない。

パワーユニットは正しくパソコンに接続されていますか？

12ページを参照し、もう一度ハード上の接続を確かめてください。

CC-TR100が正しくパワーユニットにセットされていますか？

12ページを参照し、正しくセットされているか確認してください。

e-Train Data Ver.3のシリアルポート設定は正しく行われていますか？

タスクトレイのTR-100の形をしたアイコン ([Connection Manager](#)) を右クリックして [\[設定\]](#) を選択し、[\[Serial Port Setup \[e-Train Data Ver.3\]\]](#) 画面を表示します。COMポートを正しく設定してください。

参考 シリアル-USB変換ケーブルを使用した場合は自動で設定されますが、ダウンロードがうまくいかないときは[\[Serial Port Setup\[e-Train Data Ver.3\]\]](#)画面で、COMポートを正しく設定してください。

CC-TR100は[PC LINK](#)画面になっていますか？

CC-TR100は[PC LINK](#)画面で「START/STOP/ENTER」ボタンを押すとダウンロードができる状態になります。CC-TR100の画面上に[\[PC Online\]](#)と表示されているか確認します。

CC-TR100の画面上に[\[PC Online\]](#)と表示されないときは15ページあるいはPDFファイル「パワーユニット取扱説明書.pdf」を参照し、CC-TR100側の準備を整えてください。

CC-TR100やパワーユニットの接点が汚れていませんか？

接点を掃除してください。

ダウンロードは始まるが途中でエラーが出る。またはダウンロードが終了しない。

CC-TR100やパワーユニットの接点が汚れていませんか？

接点を掃除してください。

データに表示される日付が正しくない。

データの日付は、CC-TR100に設定された日付、時刻が表示されます。

CC-TR100のメニュー画面「日付設定」、「時刻設定」に正しい数値を設定してください。

詳しくはPDFファイル「パワーユニット取扱説明書.pdf」を参照してください。

ダウンロード後、e-Train Data Ver.3に異常なグラフが表示される。(グラフが直線に表示される、グラフが途中で途切れてしまう等。)

CC-TR100での計測は正しく行われましたか？

CC-TR100は液晶画面に表示される値を記録するため、正しい計測ができないとダウンロードしたデータも異常になります。

CC-TR100で正しく計測ができるよう、PDFファイル「パワーユニット取扱説明書.pdf」—「トラブルと処理」をご覧ください。

ダウンロードしたデータは27ページを参照して、e-Train Data Ver.3から削除してください。

CC-TR100の電池が消耗していませんか？

新しい電池 (CR2450) と交換してください。交換後はPDFファイル「パワーユニット取扱説明書.pdf」を参照し、リスタート操作を行ってください。

ダウンロードの前にCC-TR100単体でリセット操作または、データファイルを消去しましたか？

計測したデータのうちパワー関連のデータはパワーユニットに、その他のデータはCC-TR100に記録します。その為、リセット操作またはデータファイルの消去は、必ずCC-TR100にパワーユニットを装着して行ってください。CC-TR100単体で行うと、パワー関連のデータが消去されず計測データに不具合が発生します。

CC-TR100は、PDFファイル「パワーユニット取扱説明書」—「トラブルと処理」をご覧ください。

ダウンロードしたデータは27ページを参照して、e-Train Data Ver.3から削除してください。

パワー関連のデータが表示されない。

CC-TR100のパワーセレクトは「オン」になっていますか？

パワーセレクトを「オン」にしてください。詳しくはPDFファイル「パワーユニット取扱説明書.pdf」を参照してください。

著作権

本ソフトウェアは株式会社キャットアイの所有物であり、本ソフトウェアの構造、構成、コードは株式会社キャットアイの業務上の重要な機密事項にあたります。

本ソフトウェアは米国および日本国の著作権法並びに国際条約の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱わなければならないものです。本ソフトウェアを変更、改作、翻訳、リバースエンジニア、デコンパイル、ディスアSEMBルしないこと、またはその他の方法でソースコードを解明しようと試みることを禁止します。株式会社キャットアイは本ソフトウェアに関するいかなる権利をも付与するものではありません。

e-Train Data™の最新版について

CATEYEホームページ(<http://www.cateye.co.jp>)

ダウンロードソフトの最新版はCATEYEのホームページから無料でダウンロードしていただけます。

e-Train Dataの更新状況を定期的に確認されることをお勧めします。